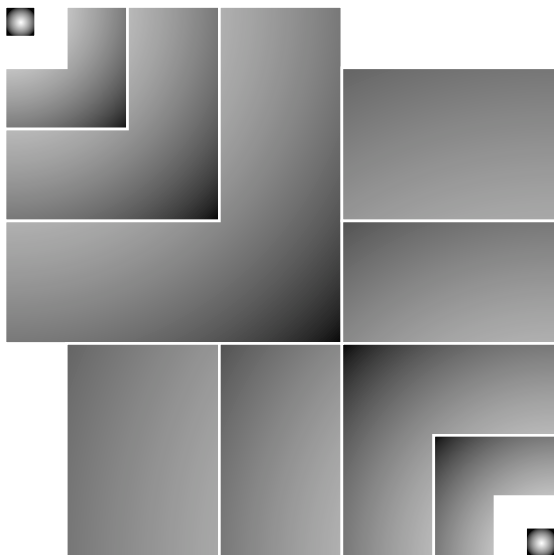
Nikon

Jp

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 4300

クールピクス 4300

• COOLPIX4300 (Jp) •

使 用 説 明 書

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX4300をお買い上げいただき、ありがとうございます。
COOLPIX4300には次の説明書が付属しています。COOLPIX4300をご使用になる前にこれらの説明書をよくお読みになり、十分に理解されてから正しくお使いください。

クイックスタートガイド

COOLPIX4300の操作を撮影から再生まで簡単に紹介しています。また、撮影した画像をパソコンに転送する方法についても説明しています。

使用説明書（本説明書）

COOLPIX4300の操作方法について、基本操作から応用まで順を追って詳しく説明しています。

Nikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）

Nikon View リファレンスマニュアルは、COOLPIX4300に付属しているCD-ROM内に収録されています。Nikon View リファレンスマニュアルの読み方については、クイックスタートガイドの **「ソフトウェアをパソコンにインストールします。」** の章をご覧ください。

本文中のマークについて

この説明書は、次のマークを使用しています。

メモ	補足的な情報や知っていると便利な情報が書かれています。
✓ ここをチェック！	操作を行うときにチェックしていただきたい情報が書かれています。
! 注意	注意していただきたいことや守っていただきたいことが書かれています。
(☞ P.00)	参照ページが書かれています。

メモ　カスタマーサポート

下記URLのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたいことを記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること(必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

指定の電池または専用ACアダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプタご使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源（電池やACアダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
ACアダプタでご使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

禁止

本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠危険（専用リチウムイオン充電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。

使用禁止

リチャージャブルバッテリーEN-EL1は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX4300に対応しています。EN-EL1に対応していない機器には使用しないこと。

液もれ、発熱の原因となります。

⚠警告（専用リチウムイオン充電池について）

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

ご確認ください

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまへ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

■大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等）については、補償致しかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

■DCFについて

COOLPIX4300は、Design rule for Camera File systems（DCF）に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

■本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）のアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

他社製品との組み合わせ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路内部に侵入したことなどが考えられます。万一このような状態になったときは、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますとバッテリーが熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、カメラの電源をOFFにし、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

目　次

1 ご使用になる前に

この章は次の2部で構成されています。

各部の名称と機能

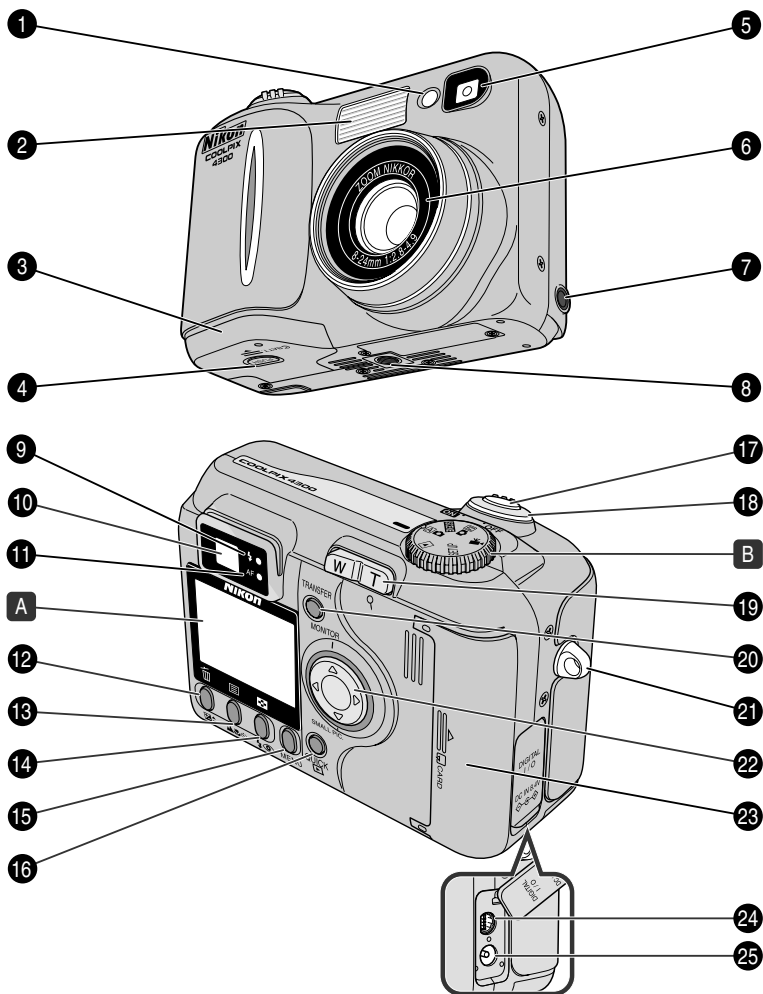
カメラ各部の名称と機能を説明しています。

撮影前の準備

撮影前の準備を説明しています。

各部の名称と機能

カメラ本体の名称や機能について紹介してします。各部についての詳しい説明は、参照ページをご覧ください。

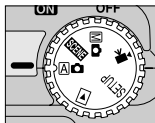
カメラ本体

❶	赤目軽減／セルフタイマー表示ランプ	☞ P.49／45
❷	スピードライト	☞ P.49
❸	バッテリーカバー	☞ P.19
❹	バッテリーカバーロック解除ボタン	☞ P.19
❺	ファインダー	☞ P.28
❻	レンズ	☞ P.150
❼	ビデオ出力端子	☞ P.71
❽	三脚ネジ穴	
❾	スピードライトランプ	☞ P.30
❿	ファインダー	☞ P.28
⓫	AFランプ	☞ P.30
⓬	露出補正・感度変更／削除ボタン	☞ P.53／55／34・35・54・58・60
⓭	フォーカスモード・マニュアルフォーカス／画面切り換えボタン	☞ P.43／56／66
⓮	スピードライトモード／サムネイルボタン	☞ P.49／34・35・58・60
⓯	**MENU**ボタン	☞ P.80
⓰	**QUICK**（クイックレビュー）ボタン	☞ P.32
⓱	シャッターボタン	☞ P.30
⓲	電源スイッチ	☞ P.26・31
⓳	ズームボタン	☞ P.29・48・58・60・61
⓴	**TRANSFER**（転送）ボタン	☞ P.70
㉑	ストラップ取り付け部	☞ P.18
㉒	マルチセレクター	
㉓	コンパクトフラッシュカードカバー	☞ P.21
㉔	USB端子	☞ P.70
㉕	DC入力端子	☞ P.20
A	液晶モニタ	☞ P.16
B	モードダイヤル	☞ P.17

A 液晶モニタ

液晶モニタには撮影する画像やカメラの設定内容に関する情報が表示されます。
撮影時に液晶モニタに表示される内容は次の通りです。

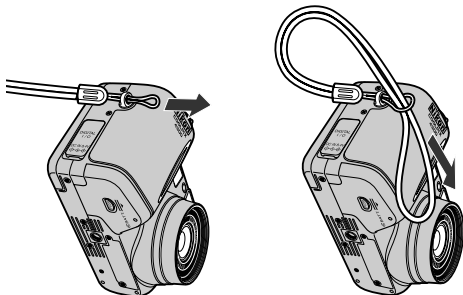
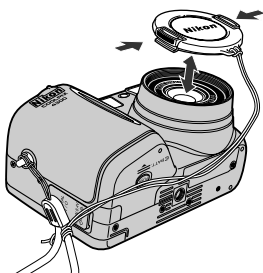
❶ シーンモード ☞ P.36
❷ セルフタイマー／カウントダウン表示 ☞ P.45
❸ ズーム表示 ☞ P.29・48
❹ UH連写進行表示 ☞ P.109
❺ 時計マーク *1 ☞ P.24
❻ マニュアルフォーカスインジケーター ☞ P.56
❼ スピードライトモード ☞ P.49
❽ フォルダ名 *2 ☞ P.90
❾ コンバータ ☞ P.113
❿ ＢＳＳ ☞ P.110
⓫ ノイズ除去 ☞ P.123
⓬ 露出固定（AEロック／WBロック）マーク ☞ P.118
⓭ ホワイトバランスブラケティングマーク ☞ P.122
⓮ ブラケティングマーク ☞ P.121
⓯ 連写モード ☞ P.108
⓰ バッテリーチェック ☞ P.27
⓱ 測光エリア／AFエリア ☞ P.107／119
⓲ 輪郭強調 ☞ P.112
⓳ ホワイトバランス ☞ P.105
⓴ 感度変更モード ☞ P.55
㉑ モノクロ ☞ P.111
㉒ 階調補正 ☞ P.111
㉓ 画像サイズ ☞ P.89
㉔ 画質モード ☞ P.88
㉕ 測光モード ☞ P.107
㉖ 露出モード ☞ P.115
㉗ シャッタースピード ☞ P.116
㉘ 露出インジケーター ☞ P.117
㉙ 絞り値 ☞ P.116
㉚ 露出補正マーク／露出補正値 ☞ P.53
㉛ カウンタ（撮影可能コマ数）／動画時間表示 ☞ P.27/52

*1 日時設定されていない場合に点滅表示します。
*2 NIKONフォルダを選択した場合は表示されません。

B モードダイヤル

モードダイヤルには、4種類の撮影モード、再生モード、SETUPモードの6種類のモードがあります。

セット位置	モード		内　容	参照ページ
A	撮影モード	オート撮影モード	カメラまかせで簡単に撮影できます。	P.26
SCENE	撮影モード	シーンモード	12種類のシーンモードの中から撮影シーンや被写体に合ったモードを選択して撮影すれば、イメージに合った写真が簡単に撮影できます。	P.36
M	撮影モード	マニュアル撮影モード	撮影メニューによって、ホワイトバランスや連写などの撮影機能をセットして、目的に合った撮影を行うことができます。	P.104
	撮影モード	動画モード	最大約40秒の動画（音声なし）を撮影することができます。	P.52
	再生モード		撮影した画像を再生したり、削除したりすることができます。	P.57
SETUP	SETUPモード		日時の設定などカメラの基本的な機能の設定や、コンパクトフラッシュカードのフォーマットなどができます。	P.86

ステップ1：ストラップを取り付けます

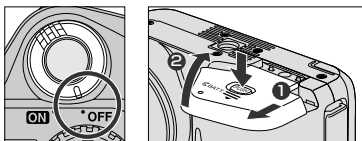
図のようにストラップを取り付けてください。

■ レンズキャップの使い方

- レンズキャップの取り付け、取りはずしはレバーを両側から押し込んで行ってください。
- レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします。

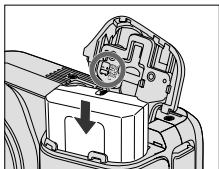
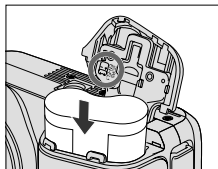
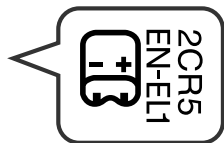
ステップ2：バッテリーを入れます

このカメラには、付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1、または市販の6Vリチウム電池（2CR5）を1個使用します。

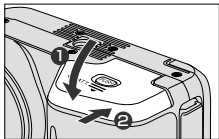
1 バッテリーを充電します。

- 付属のEN-EL1はフル充電されていません。初めてご使用になる時や、バッテリーの残量が少ない場合は、付属のチャージャーで充電してください。充電方法は、付属のチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- 市販の6Vリチウム電池（2CR5）は充電できません。

2 カメラの電源をOFFにして、バッテリーカバーを開けます。

- バッテリーカバーロック解除ボタンを押しながら、バッテリーカバーを矢印方向にスライドさせて①、バッテリーカバーを開けます②。

3 バッテリーを入れます。

EN-EL1

2CR5

バッテリーカバー裏側の⊕ ⊖の指示表示

- バッテリーをバッテリーカバーの裏側に表記されている⊕ ⊖の指示表示に合わせて正しく入れてください。

4 バッテリーカバーを閉じます。

- バッテリーカバーを押しながら矢印方向にスライドさせて、バッテリーカバーを閉じます。

注意 バッテリーについてのご注意

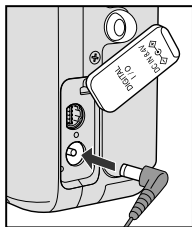
- 専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1の取り扱いについては、バッテリーの使用説明書をご参照ください。また、バッテリーを入れる際は、**「安全上のご注意」**の**「警告」**、**「危険」**（☞ P.4～8）や**「バッテリーの取り扱いについて」**（☞ P.140）の注意事項を必ずお守りください。
- カメラを三脚に取り付けた状態でバッテリーの交換はできません。

時計のバックアップ用電池について

COOLPIX4300にはバッテリーとは別に、バックアップ用電池が内蔵されており、一時的に電源が供給されない状態でも、日時とカメラの設定内容を記憶しています。このバックアップ用電池はバッテリーやACアダプタでカメラに電源が供給されている時に、約10時間で充電されます。充電が完了すると、カメラからバッテリーを取り出したり、ACアダプタを取りはずしても、記憶された日時やカメラの設定内容は約10時間保持されます。長時間カメラにバッテリーが入っていない状態が続いた場合は、記憶された日時のデータやカメラの設定内容は失われますので、再度設定してください。

- 充電が不十分な場合、一度セットした日付データや、操作ボタン・メニューで設定した内容が失われることがあります。
- 記憶されたデータ（日時、カメラの設定内容）が失われた場合は、液晶モニタに時計マークが点滅します（☞ P.16）。

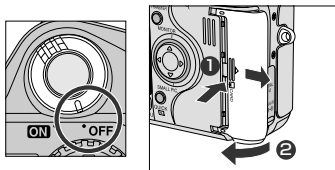
メモ 使用できるその他の電池および電源について

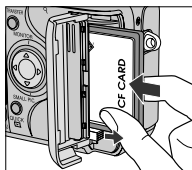
- リチャージャブルバッテリーEN-EL1の代わりに市販の2CR5リチウム電池1個を使用することもできます。
- カメラを長時間ご使用になる場合は、別売のACアダプタ EH-53またはACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21のご使用をおすすめします（☞ P.141）。ACアダプタを使用すると、家庭用電源（AC100V）からCOOLPIX4300に電源を供給することができます。

- ACアダプタを使用する場合は、カメラのDC入力端子にACアダプタのDCプラグを差し込みます。

ステップ3：コンパクトフラッシュカードを入れます

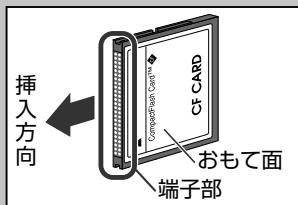
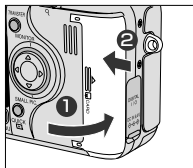
COOLPIX4300は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録します。

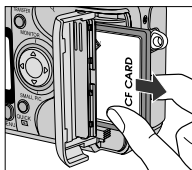
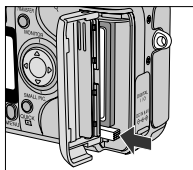
■ コンパクトフラッシュカードの入れ方

1 カメラの電源をOFFにして、コンパクトフラッシュカードカバーを開けます。

- コンパクトフラッシュカードカバーをスライドさせてから開けます。

2 コンパクトフラッシュカードを入れます。

- コンパクトフラッシュカードは、おもて面をカメラの液晶モニタ側に向けて差し込みます。カードが正しく装着されるとイジェクトレバーが手前に出てきます。

! 注意　コンパクトフラッシュカードを入れる時のご注意

コンパクトフラッシュカードを入れる時は、コンパクトフラッシュカードの端子側（右図）からカメラに挿入してください。向きを間違えて装着すると、カメラやコンパクトフラッシュカードの破損の原因となります。

3 コンパクトフラッシュカードカバーを閉じます。

■ コンパクトフラッシュカードの取り出し方

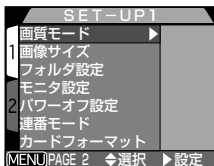
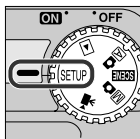
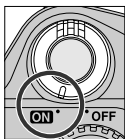
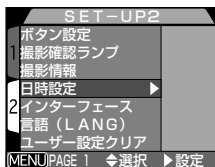
カメラの電源をOFFにして、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、イジェクトレバーを押し込み、コンパクトフラッシュカードを取り出します。

- イジェクトレバーを押し込むと、スロットに差し込まれていたコンパクトフラッシュカードが少し押し出されます。

! 注意 コンパクトフラッシュカードの取り扱いのご注意

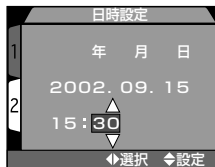
- コンパクトフラッシュカードの装着および取り出しをする時は、電源がOFFになっていることを必ず確認してください。
- コンパクトフラッシュカードは無理に差し込まないでください。カメラやコンパクトフラッシュカードの破損の原因となります。
- カメラの使用直後には、コンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。
- その他のコンパクトフラッシュカード使用上のご注意についてはP.142、およびコンパクトフラッシュカードの使用説明書をご覧ください。

ステップ4：日付と時刻を設定します

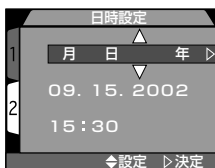
COOLPIX4300を初めてお使いになる時は、以下の手順にしたがって日付と時刻をセットしてください。撮影した画像には、設定した日付と時刻が撮影日時として記録されます。

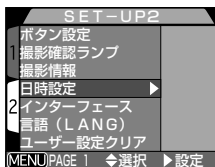
1 カメラの電源をONにし、モードダイヤルをSETUPにしてSET-UPメニューを表示させます。

2 「日時設定」を選択します。

マルチセレクターの▼を押してSET-UPメニューの2ページ目の**「日時設定」**を選択します。

▶を押すと**「日時設定」**の画面に切り換わり、**「年」**の表示が点滅します。

3 「年」「月」「日」「時」「分」をセットします。

数値は▲を押すごとに大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。数値をセットして▶を押すと次の位置に赤い表示が移動し、数値が点滅します。

左記の手順を繰り返して、年、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

4 日付表示順をセットします。

日付表示順にカーソルを合わせて▲または▼を押すと、日付表示順は以下の順に移動します。

5 日付と時刻が設定されます。

日付表示順を選択して▶を押すと、日付と時刻の設定が完了し、時計の計時が開始されます。液晶モニタの画面は、日付設定画面からSET-UPメニュー画面に戻ります。

! 注意　時計マークについて

日時と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マークが点滅し、撮影された画像の撮影日時情報には、「0000.00.00　00：00」と記録されます。

2 基本操作

この章は次の3部で構成されています。

簡単な撮影

基本的な撮影方法を説明しています。

簡単な再生

撮影中に、モードを再生モードに切り換えることなく、簡単に画像を再生したり削除する方法を説明しています。

シーンモード

シーンモードについて説明しています。

簡単な撮影

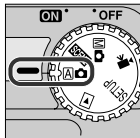
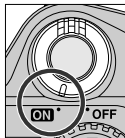
ここでは、モードダイヤルをⒶ📷（オート撮影モード）にセットして行う基本的な撮影の方法について説明します。Ⓐ📷（オート撮影モード）は、各機能の設定をカメラまかせにして撮影できるモードで、デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、手軽に簡単に写真を撮ることができます。

ステップ1：撮影を始める前に

撮影の前に、次の手順で準備を行ってください。

1 レンズキャップをはずします。

- レンズキャップを装着したまま電源を入れると、液晶モニタに**「レンズキャップがついています」**と警告メッセージ（☞ P.146）が表示されます（▶および**SETUP**以外のモードにセット時）。

2 モードダイヤルをⒶ📷にセットします。

3 カメラの電源を**ON**にします。

- ファインダー横のAFランプが数秒間点灯し、レンズが繰り出します。

4 撮影可能コマ数とバッテリー残量を確認します。

- 液晶モニタには、バッテリーの残量の状態と撮影可能なコマ数が表示されます。
- コンパクトフラッシュカードに撮影可能なメモリ残量がない場合には、**「メモリー残量がありません」**と警告表示され、撮影することができません。新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、記録されている画像を削除してください。（☞ P.125）
  また、画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影可能な状態になる場合があります。（☞ P.87）
- バッテリー残量については次の通りです。

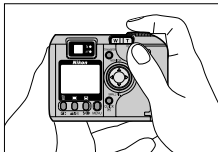
表　示	意　味	カメラの状態
表示なし	バッテリーの残量は十分です。	撮影できます。
（電池マーク）（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。充電するか予備の6Vリチウム電池(2CR5）を用意することをおすすめします。	撮影できますが、連写可能コマ数に制限があります。
電池残量がありません	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーまたは新しい6Vリチウム電池(2CR5）と交換してください。	撮影できません。

- 液晶モニタをオフにして（☞ P.29）ファインダーで撮影することで、バッテリーの消耗を防ぐことができます。

メモ　オートパワーオフ機能について

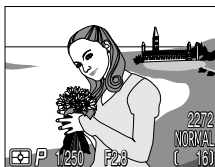
バッテリー消耗を防ぐため、30秒間（初期設定）何の操作も行わないでいると液晶モニタが自動的に消灯します。再度点灯させるには、シャッターボタンを半押ししてください（SET-UPメニュー**「パワーオフ設定」**☞ P.95）。

ステップ2：構図を決めます

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、右手でカメラのグリップをしっかりと持ち、左手で支えます。

! 注意 カメラを構える時についてのご注意

- カメラ前面のレンズやスピードライトなどに指や髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
- ファインダーで太陽を直視しないでください。

2 構図を決めます。

液晶モニタ

ファインダー

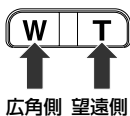
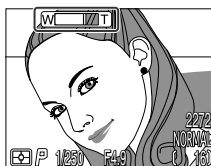
- 写したいものにレンズを向け、液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。Ⓐ📷モードの撮影では、液晶モニタまたはファインダーの中央部でピント合わせを行うため、ピントを合わせたいものを画面の中央部に重ねてください。

メモ 液晶モニタとファインダーについて

- 液晶モニタを使用して構図を決める場合は、表示された画像と同じ画像が撮影されます。ファインダーを使った撮影では、見える範囲と実際に撮影した画像が正確に一致しない場合があります。次の場合は液晶モニタを使用して撮影してください。
  - カメラの設定内容を確認しながら撮影する場合
  - マクロモードでの撮影（☞ P.43）
  - 被写体との距離が1.5m以内の場合
  - 電子ズームを使用している場合（☞ P.48）
  - コンバータ（別売）を使用している場合（☞ P.113）
- ファインダーを使用して構図を決める場合は、液晶モニタを消灯するとバッテリーを節約できます。また、明るい場所で液晶モニタが見えにくい時はファインダーを使用すると便利です。

■ズームボタンについて

COOLPIX4300は3倍のズームレンズを装備しています。ズームボタンを押すことにより、構図を決める際に撮影する範囲を変えることができます。

ワイド（広角）時画面

テレ（望遠）時画面

- ズームボタンの**W**を押すと、レンズがワイド（広角）側にズーミングして、撮影する範囲が広くなります。
- ズームボタンの**T**を押すと、レンズがテレ（望遠）側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- ズームボタンを押している間、液晶モニタにはズーム量を示すインジケーターが表示されます。
- 液晶モニタを使用して撮影する場合には、最も望遠側にして、2秒間以上ズームボタンの**T**を押し続けると、自動的に電子ズームが働き、さらに4.0倍（合計12倍）まで被写体を大きく写すことができます（☞ P.48）。

! 注意　電子ズーム撮影のご注意

電子ズームでの撮影の場合には、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、必ず液晶モニタで確認してください。

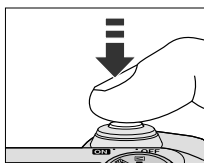
■ 液晶モニタの表示切り換えについて

モードダイヤルがⒶ📷、Ⓜ📷および▶のいずれかにセットされている場合は、マルチセレクターの▲を押すごとに、液晶モニタの表示が次のように切り換わります。

▲を押すごとに、液晶モニタの表示が切り換わります。

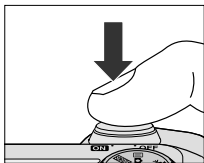
カメラの設定内容と撮影画面を表示　撮影画面のみ表示　液晶モニタ消灯

ステップ3：ピントを合わせて撮影します

1 写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央に合わせて、シャッターボタンを半押しし、ピントが合っていることを確認します。

半押しすると、ピントを固定します

● シャッターボタンを軽く押して途中で止める動作を**「シャッターボタンを半押しする」**といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせと露出が決まり、AFランプが点灯します。半押し中は、ピントと露出は固定されます。

ランプ	表　示	内　容
スピードライトランプ ⚡〇	点　灯	スピードライトの充電が完了しています。撮影時に発光します。
	点　滅	スピードライトが充電中です。いったんシャッターボタンから指を離し、点灯後撮影を行ってください。
	消　灯	被写体が明るいため、またはスピードライトモードが発光禁止になっているため、スピードライトは発光しません。
AFランプ AF〇	点　灯	被写体にピントが合っています。シャッターボタンを深く押し込むと撮影が行えます。
	高速で点滅	被写体にピントを合わせることができません。AFロック撮影（☞ P.47）を行ってください。

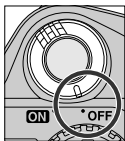
2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- 一気にシャッターボタンを押すと、手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んでください。

! 注意 画像記録中のご注意

- 液晶モニタに砂時計マーク⌛が表示されるまで、撮影し続けることができます。
- 液晶モニタに砂時計マーク⌛が表示されている時やAFランプが点滅している場合は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録していますので、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像がこわれたりする場合があります。

ステップ4：カメラの電源をOFFにします

- 電池の消耗を防ぐため、撮影を行わない時は、電源がOFFにセットされていることを必ず確認してください。

簡単な再生

撮影した画像は撮影後すぐに見ることができるので、カメラの設定や構図などをチェックしながら、次の撮影を行うことができます。
撮影後すぐに画像を確認したい場合は「レビュー再生モード」、「簡易再生モード」を使用します。モードダイヤルを▶（再生）モードに切り換えなくても、**QUICK▶**（クイックレビュー）ボタンを押すだけで再生できます。

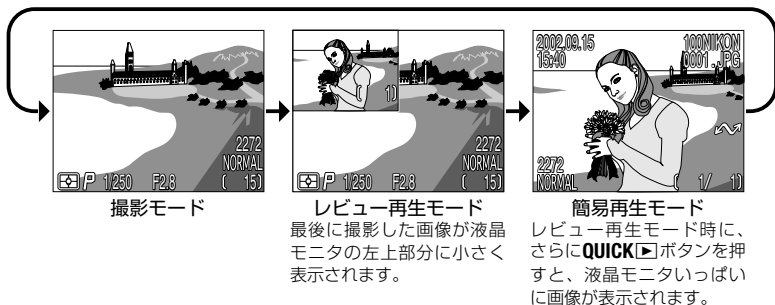
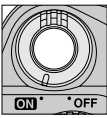
■ 撮影した画像をすぐに確認するには

モードダイヤルを撮影モードにセットしたまま、QUICK▶ボタンを押します。

QUICK▶ボタンを押すごとに、液晶モニタの画面が次のように切り換わります。

撮影モード

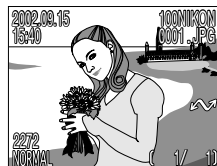
レビュー再生モード
最後に撮影した画像が液晶モニタの左上部分に小さく表示されます。

簡易再生モード
レビュー再生モード時に、さらに**QUICK▶**ボタンを押すと、液晶モニタいっぱいに画像が表示されます。

- レビュー再生モード、簡易再生モード時にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影をすることができる状態に戻ります。

レビュー再生モード

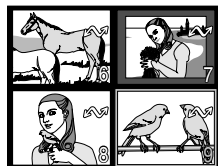
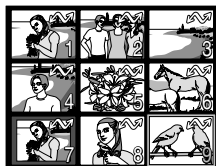
レビュー再生モード時には、以下の操作が行えます。

機　能	ボタン	内　容
前後の画像を見る		マルチセレクターの◀を押すと1コマ前に、▶を押すと1コマ後に記録された画像が表示されます。◀または▶を押し続けると、コマ番号が変わり、◀または▶を離した時点の画像が表示されます。
簡易再生モードにする	QUICK ▶	画像を全画面表示します。
撮影する	ON OFF	シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。シャッターボタンを深く押し込むと、撮影できます。

簡易再生モード

簡易再生モードでの操作方法は次の通りです。

機　能	ボタン	内　容
前後の画像を見る	(マルチセレクター ◀ ▶)	マルチセレクターの◀を押すと1コマ前に、▶を押すと1コマ後に記録された画像が表示されます。◀または▶を押し続けると、コマ番号が変わり、◀または▶を離した時点の画像が表示されます。
サムネイル画像を見る	▦（⚡◉）	▦ボタンを押すと、9コマまたは4コマのサムネイル（縮小表示）画像を一覧表示します。
表示されている画像を削除する	🗑（±⬍）	削除 / 1枚削除します よろしいですか？ / いいえ▷ / はい / ⬍設定 ▷決定 🗑（±⬍）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、**「はい」**か**「いいえ」**のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。 ● **いいえ**：選択された画像は削除されず、そのまま保存されます。 ● **はい**　：選択された画像は削除されます。
パソコンに転送する画像を選択する	**TRANSFER**	撮影された画像に〜マークを付けたり、消したりすることで、あらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。
撮影する	シャッターボタン／**QUICK**▶	シャッターボタンを半押し、または**QUICK**▶ボタンを押すと、すぐに撮影することができます。

● 再生に関する詳細は、P.58の**「1コマ再生モード」**をご覧ください。

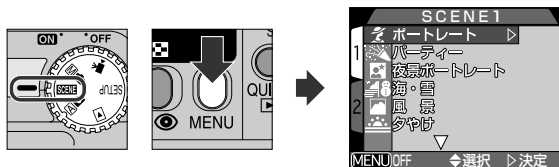
サムネイルレビューモード

サムネイルレビューモードでの操作方法は次の通りです。

機　能	ボタン	内　容
画像を選択する	(マルチセレクター)	マルチセレクターの▲／▼／◀／▶を押すと、サムネイル画像が選択されます
表示コマ数を変更する	▦ (⚡◉)	▦ボタンを押すごとに、液晶モニタのサムネイル画像の表示が次のように切り換わります。 9コマ表示 → 4コマ表示 → 1コマ表示
表示されている画像を削除する	🗑 (☒◆)	削　除 / 1枚削除します よろしいですか？ / いいえ▷ / は　い / ◆設定　▷決定 🗑（☒◆）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、**「はい」**か**「いいえ」**のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。 ● **いいえ**：選択された画像は削除されず、そのまま保存されます。 ● **はい**　：選択された画像は削除されます。
パソコンに転送する画像を選択する	**TRANSFER**	撮影された画像にマークを付けたり、消したりすることで、あらかじめパソコンに転送する画像を選択することができます。
撮影する	シャッターボタン／**QUICK**▶	シャッターボタンを半押し、または**QUICK**▶ボタンを押すと、すぐに撮影することができます。

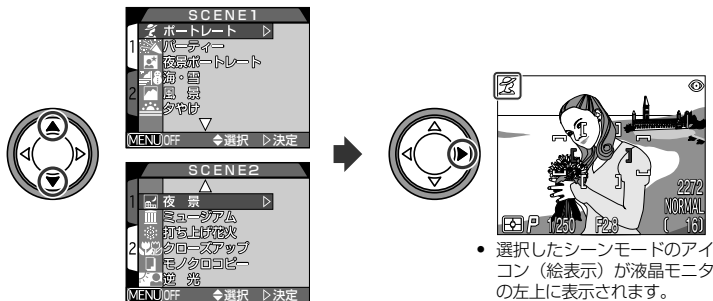
● 詳しくは、P.60の**「サムネイルモード」**をご覧ください。

シーンモードで撮影してみましょう

シーンモードでは、ポートレートや夜景、クローズアップなど、撮影シーンや被写体に合わせたモードにセットするだけで、イメージに近い写真がカメラまかせで簡単に撮影できます。各モードの特徴は次ページをご覧ください。

1 モードダイヤルをSCENEにセットし、MENUボタンを押して、シーンモード画面を表示させます。

- シーンモード画面では、12項目のシーンモードが2ページに分かれて表示されます。
- マルチセレクターの▲または▼を押して2ページ目に切り換えることができます。

2 シーンモード画面で希望するシーンモードを選択し、決定します。

- 選択したシーンモードのアイコン（絵表示）が液晶モニタの左上に表示されます。

- マルチセレクターの▲または▼を押して赤く表示されている部分を移動させてシーンモードを選択します。▶を押すと、選択したシーンモードがセットされて、撮影画面になります。
- シーンモード画面が表示されている時に**MENU**ボタンを押すと、メニュー画面が終了します。

! 注意　シーンモードについて

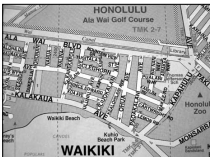
撮影状況によっては、必ずしも最適な画像とならないことがあります。その場合はⒶモードで撮影し直すことをおすすめします。また、撮影後にパソコンなどでレタッチを行う場合にはシーンモードはおすすめできません。

■ 各シーンモードの特徴と各機能の組み合わせについて

● スピードライトモード（☞P.49）とフォーカスモード（☞P.43）は、各シーンモードで使用可能なものです。マーク等の意味は次の通りです。

スピードライトモード	
液晶モニタの表示	内　容
表示なし	自動発光
⊘	発光禁止
👁	赤目軽減自動発光
ϟ	強制発光
SLOW	スローシンクロ

フォーカスモード	
液晶モニタの表示	内　容
表示なし	通常AF
⏲	セルフタイマー
▲	遠景
✿	マクロ
⏲✿	マクロセルフ

● 手ブレ表示（★／★★）のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。
★　：脇をしめて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

シーンモード	特 徴	スピードライトモード	フォーカスモード	手ブレ
ポートレート	背景をきれいにボカして、人物を浮き立たせて立体感がある、ナチュラルなポートレート写真が撮影できます。 ● 背景のボケの程度は明るさで変化します。 ● AFエリアはMANUAL（5点）となります。マルチセレクタでAFエリアを選択してください（☞P.119）。	自動発光 ⊘ 👁 ϟ SLOW	通常AF ⏲	–
パーティー	パーティーなどで、キャンドルライトをきれいに写すなど、被写体の背景を生かした雰囲気のある写真が撮影できます。	👁	通常AF ⏲	★

シーンモード	特徴	スピードライトモード	フォーカスモード	手ブレ
夜景ポートレート	夜景をバックに人物を撮影したい時、背景を黒くつぶすことなく人物も背景も自然に表現した写真が撮影できます。 ● シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影の場合、自動的にノイズ除去モードにセットされます(☞P.123)。	👁	通常AF 🕙	★
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影することができます。	自動発光 🅧 👁 ϟ SLOW	通常AF 🕙 ▲ 🌷 🕙🌷	–
風景	木々の緑や青空などの輪郭と色のコントラストが強調された、鮮やかな写真が撮影できます。	🅧	🕙 ▲	–
夕やけ	美しい赤い夕やけや朝焼けを、見た目のままに美しく撮影することができます。	🅧	通常AF 🕙 ▲	★
夜景	夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。 ● シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影の場合、自動的にノイズ除去モードにセットされます。	🅧	🕙 ▲	★★

シーンモード	特徴	スピードライトモード	フォーカスモード	手ブレ
ミュージアム	スピードライトの発光が禁止されている博物館や美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影する時に使用します。 ● 博物館、美術館等によっては、撮影自体禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。 ● BSSが自動的にセットされます（☞P.110）。		通常AF	★
打ち上げ花火	スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。			★★
クローズアップ	草花や昆虫、小物などを、色鮮やかに撮影することができます。 ● AFエリアはMANUAL（5点）となります。マルチセレクタでAFエリアを選択してください（☞P.119）。 ● ピントが合う範囲は、レンズ前約4～20cmとなります。 ● 液晶モニタのマークが黄色に表示されるズーム位置（最広角側）では、レンズ前約4cmまでピントを合わせることができます。 ● ズーム位置により最短撮影距離は変化します			★

シーンモード	特徴	スピードライトモード	フォーカスモード	手ブレ
モノクロコピー	ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。 ● 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。 ● フォーカスモードが通常AFの場合、最短撮影距離がレンズ前約70cmとなります。 ● 近くのものを撮影する場合には、マクロモードにセットしてください。マクロモードセットすると、液晶モニタのマークが黄色に表示されるズーム位置（最広角側）では、レンズ前約4cmまでピントを合わせることができます。 ● ズーム位置により最短撮影距離は変化します	自動発光 SLOW	通常AF	－
逆光	逆光状態の時に、人物が影にならずに美しく撮影することができます。		通常AF	－

注意　シーンモードでのノイズ除去モードについて

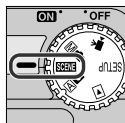
シーンモードの夜景ポートレートまたは夜景に設定時に、シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影では、画面上に発生する星状のノイズを軽減する**ノイズ除去モード**（☞ P.123）に自動的にセットされます。この場合、撮影後のコンパクトフラッシュカードへの記録に通常より2倍以上の時間がかかります。ノイズ除去が行われると、液晶モニタにノイズ除去表示（**NR**）が表示されます。

3 撮影機能の詳細

この章では、撮影モード時のカメラの各撮影機能について詳しく説明しています。

撮影モード

COOLPIX4300には4種類の撮影モードがあります。

撮影モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、選択したいモードを左側の━マークに合わせます。

- シーンモードを選択すると、選択されたシーンモードのアイコンが液晶モニタの左上に表示されます。
- 動画モードを選択すると、動画マークが液晶モニタの左下に表示されます。

モード	内　容	参照ページ
A 📷 オート撮影モード	一番手軽に撮影できるカメラまかせのモードです。スナップ撮影など、シャッターチャンス優先で撮影したい時などに便利です。	P.26
SCENE シーンモード	12種類のシーンモードの中から撮影シーンや被写体に合ったモードを選択すると、イメージに近い写真を手軽に撮影できるモードです。	P.36～40
M 📷 マニュアル撮影モード	撮影メニューによって、撮影機能について詳細に設定できます。	P.104～123
動画 動画モード	最大40秒間の動画（音声なし）を撮影します。動画は画像サイズ320×240で、15フレーム／秒で撮影されます。	P.52

フォーカスモード

フォーカスモードは、撮影目的に応じて以下の5種類のモードから選択できます。

フォーカスモード	表示	機　能	こんな時に
通常AFモード	表示なし	被写体までの距離に応じて、自動的にピントを合わせます。ピントの合う距離範囲は、広角（W）時は30cm〜無限遠、望遠（T）時は60cm〜無限遠です。	カメラまかせで一番手軽に撮影できるモードです。スナップ写真やポートレートをはじめとするほとんどの撮影に幅広く対応します。
セルフタイマーモード		通常AFモードでセルフタイマー撮影を行います。セルフタイマー時間は、10秒か3秒のいずれかに設定できます。	撮影者自身が写りたい記念写真や、シャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したい時に使用します。
遠景モード		フォーカスは、遠景にピントが合うようにセットされます。スピードライトは自動的に発光禁止になります。	窓越しの景色や風景、建物など、遠くにある被写体を撮影する時などに使用します。
マクロモード		最広角（W）時にレンズ前約4cm〜無限遠でピントを合わせます。	花や昆虫など小さな被写体の近接（マクロ）撮影をする時に使用します。
マクロセルフモード		マクロモードでセルフタイマー撮影を行います。セルフタイマーは10秒か3秒のいずれかに設定できます。	近接（マクロ）撮影の際、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたい時に使用します。

ボタンを押し、セットしたいフォーカスモード表示、またはセルフタイマー表示を表示させます（通常AFモードでは何も表示されません）。

- ボタンを押すと、フォーカスモード表示は次のように切り換わります。

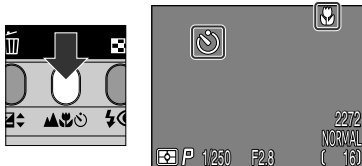
- Aモードでは電源ON時にセットされるフォーカスモードは、**通常AFモード**に設定されています。

! 注意　マクロモードについてのご注意

- が黄色に表示されているズーム位置（最広角側）にすると約4cmまでピントを合わせることができます。
- マクロモードで近接撮影する場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲との間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めることをおすすめします（☞ P.28）。
- マクロモードでスピードライトを使用すると、光が十分に行きわたらないことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。

セルフタイマー撮影

記念写真など、撮影者自身が写りたい時や、シャッターボタンを押す時に生じる手ブレを防止したい時などに使うと便利です。

1 ボタンを押して、セルフタイマー表示を点灯させます。

- **セルフタイマーモード**ではが表示されます。ピントが合う被写体までの最短距離は、レンズ先端から約**30cm**です（ズームの位置は広角側）。
- **マクロセルフモード**では、とが同時に表示されます。ピントが合う被写体までの最短距離は、レンズ先端から約**4cm**です（ズームの位置はが黄色に表示されている最広角側）。

2 構図を決めます。

- 三脚などを使って、カメラを安定させて構図を決めてください。
- ピントを合わせたい被写体が最も手前に配置される構図にしてください。

3 シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

- シャッターボタンを1度押すと10秒間、2度押すと3秒間タイマーが作動します。セルフタイマーが作動しはじめると、液晶モニタにタイマー時間がカウントダウン表示されます。セルフタイマー表示ランプはシャッターがきれる約1秒前まで点滅し、撮影前の約1秒間点灯します。
- 作動中のセルフタイマーを一時停止する時は、シャッターボタンを10秒タイマー時は2回、3秒タイマー時は1回押します。セルフタイマー作動開始後のキャンセルは、一時停止の操作後にボタンを押してを消灯させるか、電源をOFFにします。
- Mモード時には、マニュアルフォーカスによるセルフタイマー撮影が可能です。

オートフォーカスについて

COOLPIX4300は、撮影モードや液晶モニタの点灯状態によって、AFの動作方式が異なります。

- **Ⓐ📷モード・シーンモード・動画モードの場合**
  - ・液晶モニタ点灯時は、カメラは常にピント合わせを行います（**C-AF**：☞ P.120）。
  - ・液晶モニタ消灯時は、シャッターボタンが半押しされている間のみカメラがピント合わせを行います（**S-AF**：☞ P.120）。

- **Ⓜ📷モードの場合**
  - ・液晶モニタの点灯、消灯にかかわらず、シャッターボタンが半押しされている間のみカメラがピント合わせを行います（**S-AF**）。
  - ・撮影メニューの**「フォーカス：AF-MODE」**（☞ P.120）で**C-AF**を選択することもできます。

いずれの場合も、シャッターボタンを半押しするとピントが固定され、シャッターボタンを半押ししている間はそのまま固定され続けます（AFロック：☞ P.47）。

■ オートフォーカスが苦手な被写体について

次のような場合はオートフォーカスでのピント合わせが正常に行えない場合があります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 太陽が背景に入った日陰の人物など、画面内の輝度差が非常に大きい場合
- 白壁や背景と同色の服を着ている人物など、被写体にコントラストがない場合
- オリの中の動物など、遠いものと近いものが混在する被写体
- 動きの速い被写体

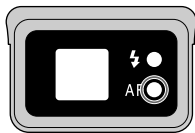
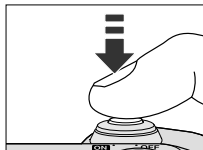
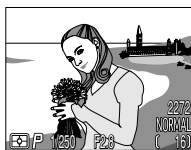
オートフォーカスでのピント合わせが正常に行えない場合、AFロック（☞ P.47）またはマニュアルフォーカス（☞ P.56)でピント合わせを行ってください。

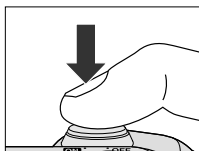
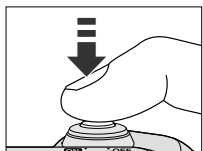
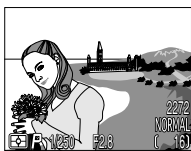
! 注意　AFロック時のご注意

シャッターボタンを半押ししてAFロックを行った場合には、同時にAEロック（露出値を保持する機能）も行われますので、露出には十分ご注意ください。

写したい被写体が構図の中央にないときは（AFロック撮影）

Ⓐ📷モード、またはシーンモード（ポートレート、クローズアップを除く）では、写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央に合わせてシャッターを半押しすると、ピントの合った状態に固定されます（AFロック）。同時に主要被写体の露出もカメラに記憶されます（AEロック）。AFロックは、主要被写体が構図の中央にない場合や、構図を工夫したい撮影の時などに便利です。

1　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、AFランプの点灯を確認します。

- 写したい被写体を液晶モニタまたはファインダーの中央に合わせ、シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うと、ファインダー右側のAFランプが点灯します。

2　シャッターボタンを半押ししたまま構図を変え、シャッターボタンを押し込んで撮影します。

- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントと露出が固定（AF／AEロック）されます。

！注意　AFロック後の被写体との撮影距離について

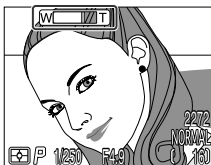
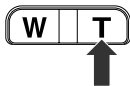
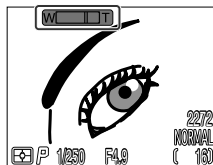
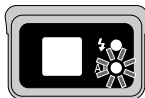
AFランプの点灯後は主要被写体との撮影距離を変えないでください。

✓ ここをチェック！

- Ⓜ📷モード時に**TRANSFER**ボタンを押すと、露出を固定するAEロック撮影が可能です。
- AEロック撮影は、マルチ測光、スポット測光、中央重点測光のいずれでも行うことができますが、マルチ測光は十分なAEロック効果が期待できないため、おすすめできません。測光方式の選択については ☞ P.107

電子ズーム W T

COOLPIX4300は、3倍の光学ズームに加え、さらに4倍に拡大する電子ズーム（合計12倍）を装備しています。

液晶モニタを使用して撮影する場合には、光学ズームを最も望遠側にして、ズームボタンの**T**側を2秒以上押し続けると、自動的に4倍までの電子ズームが作動します。

ズームボタンの**T**側を押して、光学ズームの最大倍率にします。

T側を2秒間以上押し続けます。

電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。

- 電子ズームの作動中は、AFランプが低速点滅します。

- 電子ズームが作動している時にズームボタンの**W**側を押すと、電子ズームの倍率が低くなり、さらに押し続けると電子ズームが解除されます。

! 注意　電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム作動中は、AFエリアは中央に固定され、測光モードは中央部重点測光相当になります。
- 液晶モニタが消灯している場合は、電子ズームは作動しません。電子ズームを使用する前に、マルチセレクターの▲を押して、液晶モニタを点灯させてください（☞P.29）
- HIモード、マルチ連写、UH連写、動画、モノクロモード時には使用できません。
- 電子ズーム時には撮影画面の中央部を拡大するため、ファインダーで見える範囲と撮影範囲が異なります。必ず液晶モニタで確認しながら撮影してください。
- 電子ズームは、カメラのセンサーがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。

スピードライトモード

撮影の目的や状況に応じて、以下の5種類のスピードライトモードを選択できます。

スピードライトモード	表示	機　能	こんな時に
自動発光	表示なし	被写体が暗い時にスピードライトが自動的に発光します。	一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
発光禁止		スピードライトの発光を禁止します。	暗い場所で自然光を使って撮影する場合やスピードライトの使用が禁止された場所で撮影する時などに使用します。シャッタースピード表示が黄色く表示されている場合は手ブレに注意してください。
赤目軽減自動発光		人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。スピードライトが発光する前に赤目軽減ランプを約1秒間照射し、その後スピードライトが発光します。	ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物に赤目軽減ランプをしっかりと見るようにすると効果が上がります）。ただし、シャッターチャンスを優先させるような撮影にはおすすめできません。
強制発光		被写体の明るさとは関係なくスピードライトを発光させます。	昼間の屋外撮影での逆光の場合などに使用します。
スローシンクロ	SLOW	主要被写体の背景の露出を考慮して、遅いシャッタースピードでスピードライトを発光します。	夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに写したい場合に使用します。シャッタースピード表示が黄色く表示されている場合は手ブレに注意してください。

ϟ◉ボタンを押して、セットしたいスピードライトモード表示を表示させます（自動発光モードでは何も表示されません）。

- ϟ◉ボタンを押すと、スピードライトモード表示は次のように切り換わります。

注意　スピードライト使用時のご注意

- スピードライト充電中にシャッターボタンを半押しすると、ファインダー右側のスピードライトランプが点滅する場合があります。このような場合は、シャッターボタンからいったん指を離し、しばらくしてから再度半押しして、スピードライトランプの点灯を確認してください。
- スピードライトを使用する時は、指や髪の毛などでスピードライトの前をさえぎらないように注意してください。スピードライトの前がさえぎられていると、撮影画像が暗くなったり、大きな影が写り込んだりする場合があります。

✓ ここをチェック！

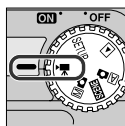
- Ⓜ📷モード時にモードダイヤルの切り換え、電源のOFFなどによってモードをいったん終了してから、再びⓂ📷モードにセットした場合、スピードライトモードは、前回セットされていたスピードライトモードにセットされます。
- Ⓐ📷、シーンモード時は、自動発光モードまたは赤目軽減自動発光モードのいずれか（最後にセットされた方のモード）にセットされます。
- 40cmより近距離側でスピードライト撮影を行った場合、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。

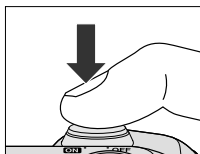
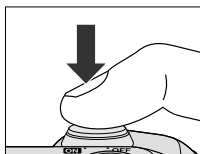
! 注意 発光禁止、スローシンクロモード時のご注意

- **発光禁止**、または**スローシンクロモード**を選択して暗い場所で撮影する際は、シャッタースピードが遅くなり、手ブレを起こしやすくなりますので三脚などを使用してカメラを安定させて撮影してください。また、シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影では、液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯し、撮影画面にノイズが生じる場合があります。
- 次の場合は自動的に**発光禁止モード**になりますので、ご注意ください。
  - フォーカスモードが**遠景モード▲**にセットされている場合（☞ P.43）
  - シーンモードで、**「風景（🏔）」「夕やけ（🌅）」「夜景（🌃）」「ミュージアム（🏛）」「打ち上げ花火（🎆）」「クローズアップ（🌷）」**にセットされている場合（☞ P.38～39）
  - 撮影メニューの**「BSS」**が**ON**にセットされている場合（☞ P.110）
  - 撮影メニューの**「連写」で「連写」「マルチ連写」「UH連写」**にセットされている場合（☞ P.108）
  - モードダイヤルが**🎥（動画）**にセットされている場合（☞ P.52）
  - 撮影メニューの**「コンバータ」**が**OFF**以外にセットされている場合（☞ P.113）
  - 撮影メニューの**「露出制御：露出固定」**が**ON**にセットされている場合（☞ P.118）

動画モード

動画モードでは、最大40秒間の動画（音声なし、画像サイズ320×240、15フレーム/秒）を撮影することができます。

1 モードダイヤルを動画モードにセットします。

- 液晶モニタの左下に動画モード表示が表示されます。
- カウンタ部には、動画撮影可能な時間（最大40秒）が表示されます。

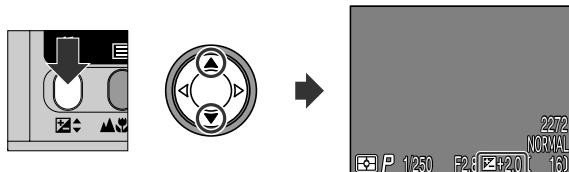
2 シャッターボタンを深く押し込むと、動画の撮影を開始します。

3 シャッターボタンをもう一度深く押し込むと、動画の撮影を終了します。

- 動画の撮影は、撮影開始後40秒経過するか、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなると自動的に終了します。
- 動画ファイル形式は、QuickTime Movie（ファイル拡張子「.MOV」）でコンパクトフラッシュカードに記録されます。

✓ ここをチェック！　動画撮影時について

- 電子ズームは作動しません（☞ P.48）。
- スピードライトは発光しません。

露出補正

撮影条件等に合わせて露出補正が行えます。補正値は－2EVから＋2EVの範囲で、1/3EVステップごとにセットできます。

露出補正ボタンを押しながらマルチセレクターの▲または▼を押して、セットしたい露出補正値を表示させせます。

- ±0.0以外にセットすると、液晶モニタに（露出補正マーク）と露出補正値が表示されます。
- Mモードで、撮影メニューの**「露出制御：露出モード」**（☞ P.115）を**M**（マニュアル）にセットしている時には、露出補正は行えません。

メモ　露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは補正値を**＋側**にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を**－側**にセットしてください。

メモ　露出補正をキャンセルするには

露出補正をキャンセルする時には、露出補正値を0.0にセットします。Aモード、シーンモードおよび動画モードにセットした時は、電源をOFFにしてもキャンセルできます。

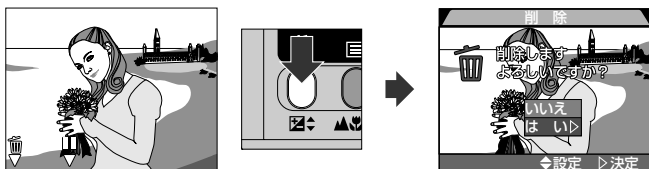
ここをチェック！

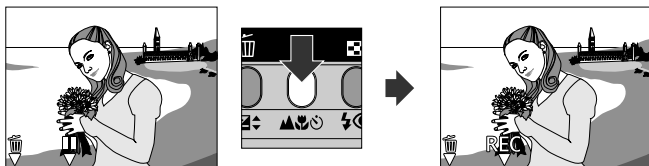
露出補正は、撮影メニューの**「露出制御：露出補正」**（☞ P.118）でも行えます。

記録中の画像の削除と静止画延長

撮影した画像がコンパクトフラッシュカードに記録されている間に、記録中の画像を削除したり、画像の表示を延長したりすることができます。

■ 記録中の画像の削除

撮影した画像の記録中に、液晶モニタに🗑が表示されている間に🗑（🗑／☒◆）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼で「はい」を選択して▶を押すと記録中の画像を削除することができます。

■ 静止画表示の延長

撮影した画像の記録中に、液晶モニタに⏸が表示されている間に⏸（▤／▲✿◌）ボタンを押すと、液晶モニタに**REC**が表示され、撮影した画像の静止画表示が20秒間延長されます。そのまま何も操作を行わない場合、画像は20秒後に記録されます。

- 液晶モニタに🗑が表示されている間に🗑（🗑／☒◆）ボタンを押すと削除確認画面が表示され、画像の削除を行うことができます。
- 液晶モニタに**REC**が表示されている間に**REC**（▤／▲✿◌）ボタンを押すと、そのまま画像が記録されます。

感度変更モード

Ⓜ📷のみ

標準時の感度はISO100相当ですが、AUTOにセットした場合は、低輝度時に自動的に感度アップします。また、暗いところで被写体を明るく撮影したい場合には、撮像感度を標準よりも高くセットすることもできます。

モードダイヤルをⓂ📷にセットし、感度変更ボタンを押しながらズームボタンを押して、セットしたい感度を表示させます。

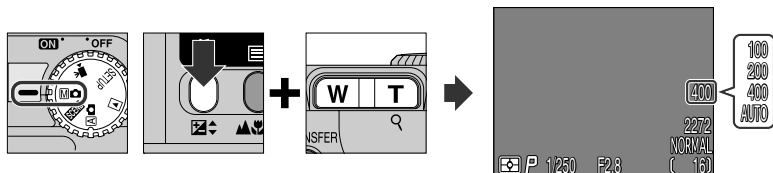



表　示	感　度
AUTO	通常は標準感度（ISO100相当）にセットされますが、低輝度時には自動的に感度アップします。 ● **AUTO**にセットして低輝度時に自動的に感度アップしている時は、液晶モニタには、**ISO**（感度変更マーク）が表示されます。
400	ISO400相当
200	ISO200相当
100	ISO100相当 ● 暗い場所や動きの速い被写体の撮影以外は、100で撮影することをおすすめします。

メモ　感度変更モードをキャンセルするには

- 感度変更モードをキャンセルする場合は、**AUTO**にセットしてください。
- 感度の変更は、撮影メニューの**「感度設定」**（☞ P.115）でも行えます。

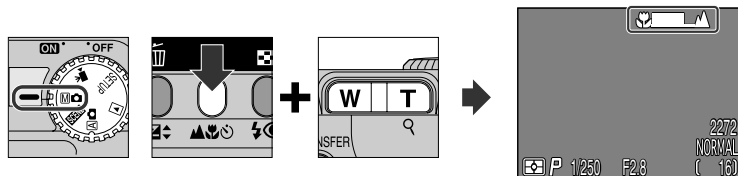
注意　感度変更モードについてのご注意

- 感度変更モードのセットは、Ⓜ📷モード時のみ有効です。感度セット後に撮影モードをⒶ📷に合わせた場合、セットした感度は無効になり、**AUTO**にセットされます。ただし、撮影モードを再びⓂ📷にセットすると、セットした感度に復帰します。
- **200**、**400**にセットした時や、**AUTO**で低輝度時に自動的に感度アップしている時は、標準感度に比べて多少ザラついた画像になる場合があります。

マニュアルフォーカス ▲✿⏱

M📷モード時には、マニュアルフォーカスで撮影することができます。被写体との撮影距離をあらかじめ想定して撮影を行う場合や、オートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合などに便利です。

モードダイヤルをM📷にセットして、▲✿⏱ボタンを押しながらズームボタンを押すと、マニュアルフォーカスでの撮影となり、液晶モニタにマニュアルフォーカスインジケーターが表示されます。

- マニュアルフォーカスインジケーターを目安にして、被写体にピントが合うまで▲✿⏱ボタンを押しながらズームボタンを押します。

- セットできる撮影距離（レンズ前から被写体までの距離）は、ズーム位置が最広角側の時に約0.04m（✿）～無限遠（▲）ですが、セットされているフォーカスモードによって、次のようになります。
  通常AF、セルフタイマー、遠景モード時：0.30m～10mおよび無限遠
  マクロ、マクロセルフモード時：約0.04m～10mおよび無限遠
- ▲✿⏱ボタンを押しながらズームボタンの**W**側を押すと撮影距離が短くなり（✿）、**T**側を押すと長くなります（▲）。
- マニュアルフォーカスで撮影すると、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調されてピントが確認しやすいピーキング（☞ P.120）に自動的にセットされます（撮影メニューの**「フォーカス：ピーキング」**でOFFの時を除く）。
- マニュアルフォーカスをキャンセルするには、▲✿⏱ボタンを押してください。

! 注意　マニュアルフォーカスについてのご注意

- マニュアルフォーカスとセルフタイマーを併用する場合は、セルフタイマーをセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください。
- セットした距離によっては、ピントが合わないズーム領域があります。この場合、液晶モニタのマニュアルフォーカスインジケーターが赤色に点灯し、警告します。
- コンバータ使用時は、オートフォーカスで撮影を行ってください。

4 再生機能の詳細

この章は再生モード時の再生機能について詳しく説明しています

1コマ再生モード

サムネイルモード

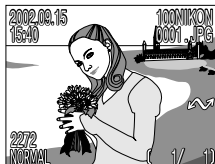
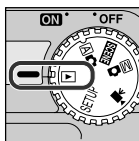
拡大表示モード

スモールピクチャー

動画再生

画像情報表示の切り換え

1コマ再生モード

モードダイヤルを▶にセットすると再生モードになり、液晶モニタに最後に撮影された画像が表示されます（1コマ再生モード）。ここでは、マルチセレクターやボタンを使った再生モードでの操作について説明しています。

1コマ再生モードでは、次の操作ができます。

機　能	ボタン	内　容
別の画像を見る	◀ ▶	マルチセレクターの◀を押すと1コマ前に、▶を押すと1コマ後に記録された画像が表示されます。◀または▶を押し続けると、コマ番号が変わり、◀または▶を離した時点の画像が表示されます。
サムネイル表示にする		1コマ再生モードからサムネイルモードに切り換えます。 • ボタンを押すごとに、9コマ表示、4コマ表示、1コマ表示に切り換わります（☞ P.60）。
表示されている画像を削除する		削除 1枚削除します よろしいですか？ いいえ▷ は　い ◆設定　▷決定 削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、**「はい」**か**「いいえ」**のいずれかを選択します。▶を押すと､選択が実行されます。 ● **いいえ**：選択された画像は削除されず、そのまま保存されます。 ● **はい**　：選択された画像は削除されます。
画像を拡大表示する	W T	再生中の画像を拡大表示します。 • 画像を最大6.0倍まで拡大して表示します。拡大表示された画像は、マルチセレクターで表示されている部分をスクロールさせて見ることができます（☞ P.61）。
液晶モニタ表示を切り換える	▲	液晶モニタの表示状態を切り換えます。 • マルチセレクターの▲を押すごとをに、液晶モニタの表示が、点灯（画像情報表示あり）→点灯（画像情報表示なし）→消灯と切り換わります（☞ P.29）。

機　能	ボタン	内　容
スモールピクチャーを作成する		再生中の画像のスモールピクチャーを作成します。 •電子メールやホームページで使用するのに適した画像サイズ・画質モードのスモールピクチャー（縮小画像）を作成します（☞ P.62）。
動画を再生する	QUICK ▶	動画を再生します（☞ P.65）。 •動画再生の開始と一時停止を行います。 •動画撮影されたファイルには、画面上に動画ファイルであることを示すマークが表示されます。
再生メニューを表示する	MENU	再生メニューを表示します（☞ P.124）。
画像情報の表示画面を切り換える		画像情報を表示する画面を切り換えます。 •ボタンを押すごとに、5種類の画像情報表示画面を切り換えます（☞ P.66）。
パソコンに転送する画像を選択する	TRANSFER	再生中の画像の転送設定をします。 •**TRANSFER**ボタンを押すごとに、パソコンへの転送設定と解除を切り換えます（☞ P.70）。

メモ　画像再生について

1コマ再生モードで画像サイズが2272、画質モードがHI、FINE、NORMALモードで撮影された画像を表示する際には、コンパクトフラッシュカードから画像を読み込んで、実際の画質の再生画像が表示されるまでの間、画像をすばやく確認できるように、解像度が低い（画像が粗く見える）プレビュー画像が表示される場合があります。

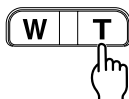
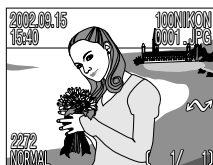
サムネイルモード

1コマ再生モード時に▦ボタンを押すと、縮小した画像（サムネイル画像）を最大9コマまで表示することができます。

サムネイルモードでは、次の操作ができます。

機　能	ボタン	内　容
表示コマ数を変更する	▦ ⚡◉	▦ボタンを押すごとに、液晶モニタのサムネイル画像の表示が次のように切り換わります。 9コマ表示 → 4コマ表示 → 1コマ表示
	W T	ズームボタンで切り換えることもできます。 • 1コマ再生時にズームボタンの**W**側を押すと4コマ表示に、もう1回押すと9コマ表示に切り換わります。 • 9コマ表示時にズームボタンの**T**側を押すと4コマ表示に、もう1回押すと1コマ再生に切り換わります。 1コマ再生 ↔ 4コマ表示 ↔ 9コマ表示
サムネイル画像を選択する		• マルチセレクターの▲/▼/▶/◀を押して画像を選択します。
表示されている画像を削除する	🗑	削除確認画面が表示されます。 • マルチセレクターの▲または▼で **「はい」** を選択して▶を押すと、表示されている画像は削除されます。**「いいえ」** を選択すると、画像は削除されず、そのまま保存されます。
選択した画像の転送設定をする	TRANSFER	表示された画像の転送設定をします。 • 押すごとに、パソコンへの転送設定と解除を切り換えます。

拡大表示モード

1コマ再生モード時にズームボタンのT（🔍）側を押し続けると、×1.2～×6.0倍の倍率（×0.2ステップ）で再生画像を拡大表示します。

画面の左上に拡大表示アイコンと倍率が表示されます。

拡大表示モードでは、次の操作ができます。

機　能	ボタン	内　容
画像を拡大表示する	W T	ズームボタンの**T**側を押すごとに6.0倍まで画像を拡大します。
拡大表示モードを解除する	W T	ズームボタンの**W**側を押すと、拡大表示モードを解除して、1コマ再生モードに戻ります。
画像の他の部分を表示する	▲▼◀▶	画面をスクロールさせて､見たい部分に移動できます。

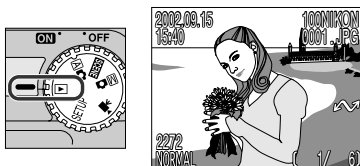
! 注意　拡大表示モードについて

- 拡大表示の状態から前後の画像を表示する場合には、いったん拡大表示モードを終了してから画像の表示を切り換えてください。
- HIモードで記録した画像では､拡大画像の表示までに時間がかかることがあります。
- UH連写の画像、動画およびスモールピクチャーの画像の拡大表示はできません。

スモールピクチャー

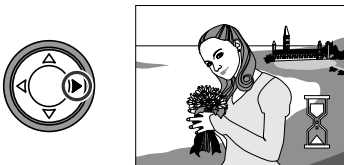
撮影した画像から、元の画像はそのまま保存しながら、画像サイズを縮小した画像（スモールピクチャー）を作成することができます。作成できる画像のサイズ（ピクセル）は640×480、320×240、160×120、96×72の4種類で、いずれも、インターネットで使用する場合に適したサイズです。

1 1コマ再生モードまたは簡易再生モードにセットします。

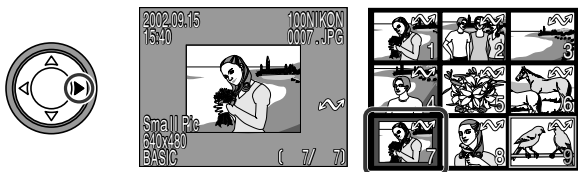
- サムネイルモード、レビュー再生モードでは作成することができません。

2 スモールピクチャーを作成したい画像を表示させ、SMALL PIC.（マルチセレクターの▼）ボタンを押します。

- スモールピクチャーの作成確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して、▶ボタンを押します。

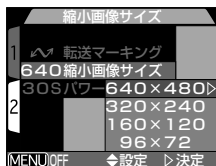
- 設定されている縮小サイズ（初期設定：640×320ピクセル）で、スモールピクチャーが作成されます。

スモールピクチャーの
作成中

4 作成したスモールピクチャーを確認します。

- 作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の一つ後にグレー色の枠で表示されます。
- スモールピクチャーは、サムネイルモードでもグレー色の枠で表示され、確認するのに便利です。

メモ スモールピクチャーについて

- スモールピクチャーの画質モードは、元画像の画質モードにかかわらずBASICになります。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子.JPG）となります。例：SSCN0009.JPG

■ 縮小サイズを変更する場合は

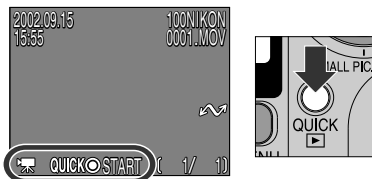
- 初期設定状態では、縮小画像サイズは**「640×480」**が選択されています。縮小サイズを変更する場合は、再生メニューの**「縮小画像サイズ」**で変更することができます（☞ P.135）。

✓ ここをチェック！

- 次の場合は、スモールピクチャーを作成することができません。
  - スモールピクチャーからスモールピクチャーを作成する場合
  - UH連写で撮影した画像、画質モードがHIの画像および動画からスモールピクチャーを作成する場合
- コンパクトフラッシュカードのメモリー残量が少ない場合、スモールピクチャーを作成できないことがあります。画像の削除などを行って、メモリー残量を確保してからスモールピクチャーを作成してください。
- スモールピクチャー画像は、スライドショーでは表示されません。
- 元画像に転送マーキングが設定されていると、スモールピクチャーにも自動的に設定されます。転送を行いたくない場合は解除してください。
- 元画像を削除しても、スモールピクチャーは削除されません。また、スモールピクチャーを削除しても、元画像は削除されません。
- 元画像にプロテクトまたはプリント指定が設定されていても、スモールピクチャーに自動的には設定されません。任意に設定してください。また、スモールピクチャーにプロテクトまたはプリント指定を設定しても、元画像には設定されません。

! 注意　スモールピクチャーについてのご注意

- COOLPIX4300で作成したスモールピクチャーをCOOLPIX4300以外のデジタルカメラで扱う場合には、正常に表示できないことやパソコンへの転送ができないことがあります。
- COOLPIX4300以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

動画再生

動画は、1コマ再生モード時に**QUICK**[▶]ボタンを押すと再生できます。

- 1コマ再生モード、サムネイルモードでは、動画撮影されたファイルは先頭フレームが静止画表示され、画面上に動画であることを示す（動画マーク）が表示されます。
- サムネイルモードから動画を再生するには、動画を選択してサムネイルボタンを押し、1コマ再生モードに入ってから、**QUICK**[▶]ボタンを押します。

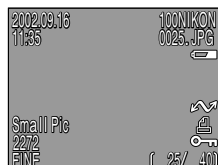
動画再生モードでは、次の操作ができます。

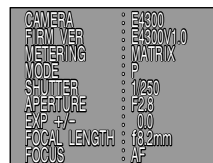
機　能	ボタン	内　容
動画再生を開始する	QUICK [▶]	**QUICK**[▶]ボタンを押すと動画の再生を開始します。動画再生終了後は最終フレームを約1秒間表示した後、先頭フレームの静止画表示に戻ります。
再生中 再生を一時停止する		ボタンを押した時点のフレームを静止画表示します。
一時停止中 再生を再スタートする		静止画表示しているフレームから動画再生を再スタートします。
一時停止中 1フレーム前の 画像を表示する	▲ ◀	動画中（動画の途中フレーム表示中）の1フレーム前の画像へコマ送りで戻ります。
一時停止中 1フレーム後の 画像を表示する	▶ ▼	動画中（動画の途中フレーム表示中）の1フレーム後の画像へコマ送りで進みます。最終フレームが表示されて一時停止している場合は再生が終了し、先頭フレームに戻ります。

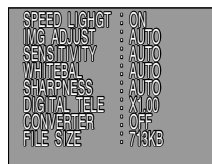
画像情報表示の切り換え

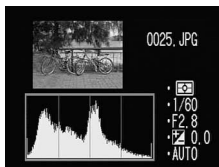
画像情報は、基本的な情報のほかに、より詳細な情報を表示させることができます。詳細な画像情報は基本情報も含めて、全部で5種類の表示画面を切り換えて表示されます。
詳細な画像情報を表示するには、▤画面切り換えボタンを押します。

● 表示される画面と、画像情報の内容は次の通りです。

1. 基本情報表示画面

表示例	表示情報の内容
100NIKON	フォルダ名
0025.JPG	ファイル名（下4ケタ番号）
(バッテリーマーク)	バッテリーチェック表示 （バッテリー残量が不十分なとき表示）
(転送マーク)	転送マーク（転送設定された画像で表示）
(プリントマーク)	プリント表示 （プリント指定された画像で表示）
(プロテクトマーク)	プロテクト表示 （プロテクト設定された画像で表示）
25/40	表示画像番号／ 選択されているフォルダで表示可能な総画像コマ数
2002.09.16	撮影日付
11:35	撮影時刻
Small Pic	スモールピクチャー （スモールピクチャーで表示）
2272	画像サイズ
FINE	画質モード

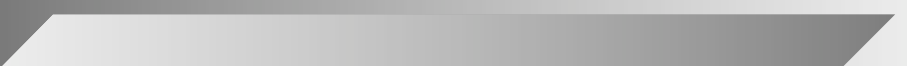
2. 詳細情報表示画面1

表示例	表示情報の内容
CAMERA : E4300	撮影カメラの機種
FIRM VER : E4300 V1.0	ファームウェアのバージョン （COOLPIX4300の撮影画像でのみ表示）
METERING : MATRIX	測光方式
MODE : P	露出モード
SHUTTER : 1/250	シャッタースピード
APERTURE : F2.8	絞り値
EXP ＋／－ : 0.0	露出補正値
FOCAL LENGTH : f8.2mm	焦点距離
FOCUS : AF	フォーカスモード

3. 詳細情報表示画面2

表示例	表示情報の内容
SPEED LIGHT : ON	スピードライト
IMG ADJUST : AUTO	階調補正
SENSITIVITY : AUTO	撮像感度
WHITEBAL : AUTO	ホワイトバランス
SHARPNESS : AUTO	輪郭強調
DIGITAL TELE : X1.00	電子ズームの倍率
CONVERTER : OFF	コンバータ
FILE SIZE : 713KB	撮影画像のファイルサイズ

4. ヒストグラム表示画面

表示	表示情報の内容
サムネイル画像	ハイライト部分を表示 （画像のハイライト部分を白／黒の点滅で表示）
ヒストグラム	表示画像のヒストグラムを表示
撮影情報	表示画像の撮影情報 （ファイル名、測光方式、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、撮像感度）

- ヒストグラムの横軸は輝度（0〜255）を、縦軸はドット数を示します。軸のスケールは画像のドット数の最大値により最適化されて表示されます。

5. ピーキング表示画面

表示	表示情報の内容
ピーキング 処理画像	画像中で焦点の合っている被写体の輪郭を強調して表示
撮影情報	表示画像の撮影情報 （ファイル名、焦点距離、シャッタースピード、絞り値、フォーカスモード、ノイズ除去、選択AFエリア）

5 撮影した画像の楽しみ方

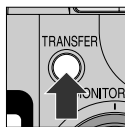
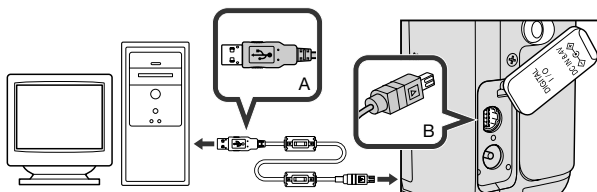
この章は次の各機能について説明しています

専用USBケーブルでパソコンに接続する

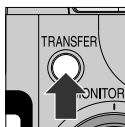
テレビやビデオなどで画像を再生する

専用USBケーブルでパソコンに接続する

Nikon View（付属のアプリケーションソフト）がインストールされたパソコンに専用のUSBケーブルUC-E1でカメラを接続すると、撮影した画像を簡単にパソコンに転送することができます。

- カメラとパソコンは専用USBケーブルUC-E1で下図のように接続します。

- 専用USBケーブルUC-E1を使用して撮影画像をパソコンへ転送するには、カメラの**TRANSFER**ボタンを押す方法と、Nikon Viewの［転送］ボタンを用いる方法とがあります。Nikon Viewについての詳細は、付属のクイックスタートガイド、およびNikon Viewのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

メモ　転送設定

画像を再生時（レビュー再生モード時を除く）に**TRANSFER**ボタンを押すと、パソコンに転送したい画像を選択したり、すでに設定された転送設定を解除したりすることができます。

TRANSFERボタン

簡易再生モード／1コマ再生モード

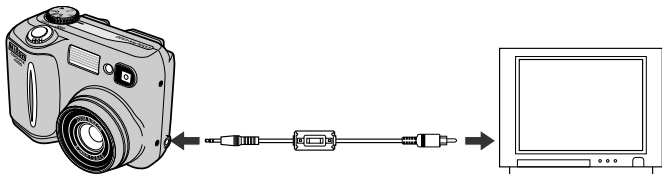
サムネイルレビューモード／サムネイルモード

- 転送設定されている画像には、（転送）マークが表示されています（初期設定では、撮影された全ての画像が転送設定されています）。画像がすでに転送設定されている場合は、**TRANSFER**ボタンを押すと、転送設定が解除されて、マークが消えます。転送設定されていない画像を選択して**TRANSFER**ボタンを押すと、転送設定されて、マークが表示されます。
- Nikon Viewがインストールされたパソコンとカメラを専用USBケーブルUC-E1で接続して、**TRANSFER**ボタンで画像を転送すると、マークの付いた画像がパソコンに転送されます。ただし、Mac OS X10.1.2をご使用の場合は、カメラの**TRANSFER**ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon Viewの［転送］ボタンを使用してください。

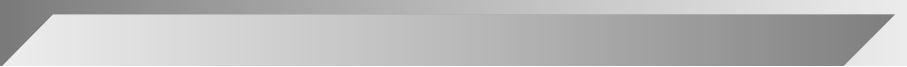
テレビやビデオなどで画像を再生する

COOLPIX4300をテレビやビデオなどに接続して、画像をテレビ画面に表示させたり、ビデオに録画したりできます。接続には専用のビデオケーブル（付属）をご使用ください。

1 カメラの電源をOFFにして、ビデオケーブルをカメラとテレビ（ビデオ）に接続します。

- ビデオケーブルの黒いプラグをカメラ側に、黄色のプラグをテレビまたはビデオ側に接続します。

2 テレビ（ビデオ）の入力モードを「ビデオ（外部入力)」に設定します。

- 詳しくは、使用するテレビまたはビデオの使用説明書をご覧ください。

3 カメラのモードダイヤルを▶にセットして、電源をONにします。

- テレビには撮影された画像が表示され、カメラの液晶モニタは消灯します。

! 注意　バッテリー使用時のご注意

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1や市販の6Vリチウム電池（2CR5）でカメラをご使用の場合は、再生メニューの**「パワーオフ設定」**（☞ P.135）での設定時間（初期設定は30秒）操作が行われないと、オートパワーオフ機能が作動して自動的にテレビへの出力が停止し、テレビには画像が表示されなくなります。ただしシャッターボタンの半押しやマルチセレクターを押すことで再び出力を開始します。バッテリーや電池を使用してテレビで再生する場合は、再生メニューの**「パワーオフ設定（30秒／1分／5分／30分)」**を変更してください。また長時間テレビで再生する場合は、別売のACアダプタのご使用をおすすめします。

メモ　ビデオモードについて

SET-UPメニューの**「ビデオモード」**では、ビデオ信号の出力形式を**NTSC**（日本などで採用されている形式)、または**PAL**（欧州などで採用されている形式）から選択します。カメラを接続する機器のビデオ信号形式と**「ビデオモード」**メニューで選択した形式は、必ず一致するようにしてください。

6 メニュー画面

この章ではカメラのメニュー画面について詳しく説明しています

メニュー一覧

メニューガイド

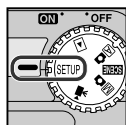
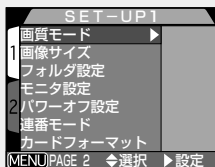
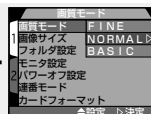
メニューの操作

SET-UPメニュー

撮影メニュー

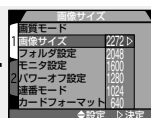
再生メニュー

メニュー一覧（SET-UPメニュー）

SET-UP1

モードダイヤルを**SETUP**にセットするとSET-UPメニューが表示されます。

画質モード

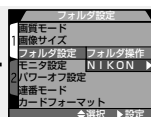
画質モード（圧縮率）を3種類から選択できます。

☞ P.88

➡ FINE / NORMAL / BASIC

画像サイズ

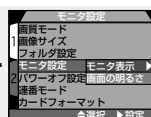
画像サイズ（大きさ）を6種類から選択できます。

☞ P.89

➡
- 2272（2272×1704）
- 2048（2048×1536）
- 1600（1600×1200）
- 1280（1280×900）
- 1024（1024×768）
- 640（640×480）

フォルダ設定

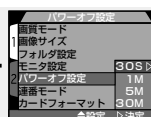
撮影・再生に使用するフォルダの選択と、操作を行います。

☞ P.90

➡
- フォルダ操作 ▶ 新規作成/名称変更/フォルダ削除
- NIKON（フォルダ名）

モニタ設定

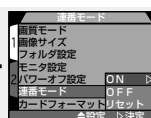
モニタ表示、画面の明るさをセットします。

☞ P.94

➡
- モニタ表示 ▶ モニタON/レビューON/レビューOFF/モニタOFF
- 画面の明るさ ▶ （5段階にセット可能）

パワーオフ設定

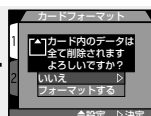
オートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットできます。

☞ P.95

➡
- 30 S（30秒）
- 1M（1分）
- 5M（5分）
- 30M（30分）

連番モード

画像のファイル名を連続する通し番号で自動的にセットできます。

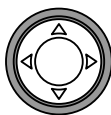
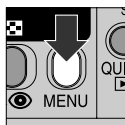
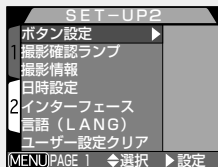
☞ P.96

➡ ON / OFF / リセット

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

☞ P.97

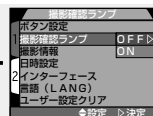
➡ いいえ / フォーマットする

SET-UP2

SET-UP1と2の画面は**MENU**ボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。

ボタン設定

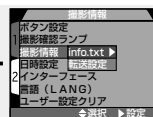
操作ボタンのセット内容の記憶と、電子ズームのON/OFFの設定ができます。 ☞ P.98

⚡👁 記憶	▶	ON/OFF
▲🌷🕓 記憶	▶	ON/OFF
☒ 記憶	▶	ON/OFF
電子ズーム	▶	ON/OFF

撮影確認ランプ
ボタン設定
撮影確認ランプ OFF ON
撮影情報
日時設定
インターフェース
言語（LANG）
ユーザー設定クリア
◆設定 ▷決定

撮影確認ランプ

赤目軽減ランプを撮影時の確認ランプとして点灯できます。 ☞ P.98

OFF

ON

撮影情報

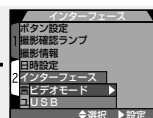
info.txtファイルの作成および、撮影時の画像の転送設定をセットできます。 ☞ P.99

info.txt	▶	OFF/ON
転送設定	▶	OFF/ON

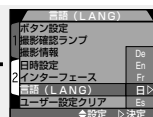
日時設定

内蔵時計の日時と年月日をセットします。 ☞ P.100

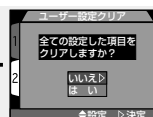
年・月・日・時・分

日付表示順

インターフェース

ビデオ出力方式やUSB通信方式を選択します。 ☞ P.101

ビデオモード	▶	NTSC/PAL
USB	▶	PTP/Mass Storage

言語（LANG）

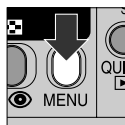
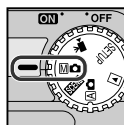
メニューに表示する言語を切り換えることができます。 ☞ P.102

De （ドイツ語）
En （英語）
Fr （フランス語）
日 （日本語）
Es （スペイン語）

ユーザー設定クリア

カメラにセットされた各種の設定をクリアします。 ☞ P.103

いいえ

は い

撮影メニュー1

モードダイヤルを M📷 にセットして、**MENU**ボタンを押します。

ホワイトバランス

撮影状況に応じて、適応するホワイトバランスがセットできます。 ☞ P.105

A オート	蛍光灯
プリセット	曇天
太陽光	スピードライト
電球	

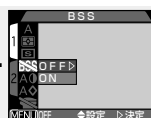
測光方式

撮影状況に応じて、測光方式を選択できます。 ☞ P.107

- マルチ
- スポット
- 中央重点
- AFスポット

連写

単写および連写などの連続撮影モードを5種類から選択できます。 ☞ P.108

単写	UH連写
連写	
マルチ連写	
高速連写	

BSS

最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像を1コマだけ記録します。 ☞ P.110

- BSS OFF
- BSS ON

階調補正

撮影する画像のコントラストと明るさを変化させます。 ☞ P.111

AUTO	明るめ
標準	暗め
コントラスト+	モノクロ
コントラスト−	

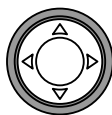
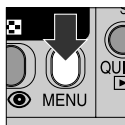
輪郭強調

撮影した画像の輪郭の強調度合を変化させます。 ☞ P.112

AUTO	OFF
強	
標準	
弱	

コンバータ

各種コンバータなどを使用する撮影に適したカメラのセットを行います。 ☞ P.113

OFF	フィッシュアイ1
ワイドコンバータ	スライドアダプタ
テレコンバータ1	
テレコンバータ2	

撮影メニュー2

撮影メニュー1と2の画面は**MENU**ボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。

画質

画質モードを4種類から、画像サイズを6種類から選択できます。

☞ P.114

画質モード	▶	HI/FINE/NORMAL/BASIC
画像サイズ	▶	2272/2048/1600/1280/1024/640

感度設定

撮像感度を変更することができます。

☞ P.115

AUTO
100
200
400

露出制御

カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることができます。

☞ P.115

露出モード	▶	P/M
露出固定	▶	OFF/ON/リセット
露出補正	▶	−2.0〜+2.0

フォーカス

AFエリア、AF-MODE、ピーキングをセットできます。

☞ P.119

AFエリア選択	▶	AUTO/MANUAL/OFF
AF-MODE	▶	C-AF/S-AF
ピーキング	▶	MF/ON/OFF

ブラケティング

露出またはホワイトバランスを自動的にずらした撮影を行います。

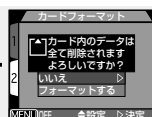
☞ P.121

OFF		
ON	▶	3,±0.3/3,±0.7/3,±1.0/5,±0.3/5,±0.7/5,±1.0
WB-BKT		

ノイズ除去

長時間露出撮影時に、画面上に生じるノイズを軽減することができます。

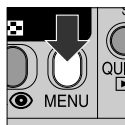
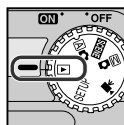
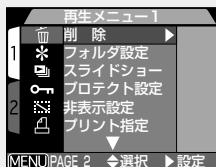
☞ P.123

ON
OFF

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

☞ P.123

いいえ
フォーマットする

再生メニュー1

モードダイヤルを▶にセットして、**MENU**ボタンを押します。

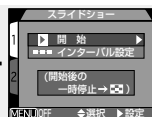
削除

複数の選択した画像や全画像の削除、およびプリント指定の解除が行えます。 ☞ P.125

➡ 選択画像削除 / 全画像削除 / プリント指定

フォルダ設定

再生するフォルダの選択と、フォルダ操作（新規作成、名称変更、削除）を行います。 ☞ P.127

➡ フォルダ操作 ▶ 新規作成/名称変更/フォルダ削除
全てのフォルダ
NIKON
（フォルダ名）

スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。 ☞ P.128

➡ 開始
インターバル設定 ▶ 2秒/3秒/5秒/10秒

プロテクト設定

記録されている画像を不用意に削除しないようにプロテクトをかけることができます。 ☞ P.130

➡ （画像を選択してプロテクト設定）

非表示設定

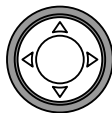
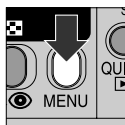
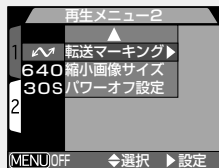
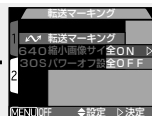
指定された画像を再生画面やメニュー項目の画像選択画面で表示されないようにします。 ☞ P.131

➡ （画像を選択して非表示設定）

プリント指定

画像ファイルのプリントについて、枚数/情報の有無を指定することができます。 ☞ P.132

➡ （画像を選択してプリント枚数設定）

再生メニュー2

再生メニュー1と2の画面は**MENU**ボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。

転送マーキング

撮影した全画像をパソコンに転送する、または転送しないように設定できます。 ☞ P.134

➡

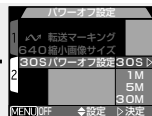
全ON

全OFF

縮小画像サイズ

スモールピクチャー（縮小画像）のサイズを指定することができます。 ☞ P.135

➡

640×480
320×240
160×120
96×72

パワーオフ設定

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットできます。 ☞ P.135

➡

30 S（30秒）
1M（1分）
5M（5分）
30M（30分）

メニューガイド

COOLPIX4300では、液晶モニタに表示されるメニューを操作することによって、カメラの機能や設定内容を詳細に設定することができます。

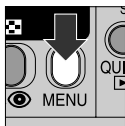
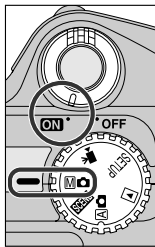
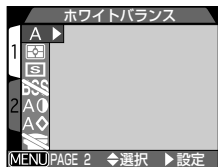
MENUボタンを押すと、各モードに応じたメニュー画面が液晶モニタに表示され、メニューの操作を行えます。

モード	メニュー	内　容	ページ
SETUP	SETUPメニュー	カメラの基本的な設定（14項目）を行います。画質モード／画像サイズなど撮影条件の設定や、日時設定／カードフォーマットなどの撮影前の準備、および撮影者がセットした設定のクリアなどを行います。	P.86
Ⓜ📷	撮影メニュー	撮影に関する各種機能（ホワイトバランス、測光方式、連写、階調補正、ブラケティングなど14項目）の設定を行います。	P.104
SCENE	シーンメニュー	12種類のシーンモードを目的に合わせて選択します。	P.36
▶	再生メニュー	撮影した画像の再生に関する各種機能（画像の削除、スライドショー再生、画像のプロテクト／非表示／転送／プリントの設定など9項目）の設定を行います。	P.124

- モードダイヤルが**SETUP**（セットアップモード）にセットされている時には、つねにメニュー画面が表示されます。
- Ⓐ📷（オート撮影）モード、🎥（動画）モードにはメニューはありません。

メニューの操作

メニューを見る

電源を ON にセットしてMENUボタンを押すと、モードダイヤルでセットされているモードに応じて、設定できるメニューが表示されます。

MENUボタンを押します

メニュー画面が表示されます

メニューを選択・決定する

メニュー画面では、マルチセレクターの▲または▼で赤く表示されている部分を移動させて項目を選択し、▶を押して設定または決定を行います。

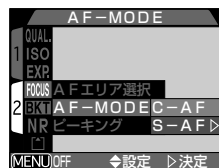
▲または▼で赤い表示を移動させて、セットしたいメニュー項目を選択します。

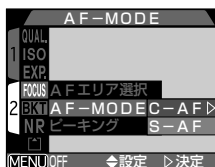
2

▶を押すと選択したメニュー項目の詳細（サブメニュー）が表示されます。

3

▲または▼でサブメニューの中からセットしたい機能を選択します。

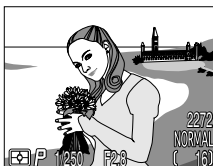
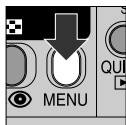
4

▶を押すとサブメニューの詳細が表示されます。

5

▲または▼でサブメニューの詳細の中からセットしたい機能を選択します。

6

フォーカス
QUAL.
1 ISO
EXP.
FOCUS ▶
2 BKT
NR
MENU OFF ⬍選択 ▶設定

▶を押すと機能のセットが決定して、メニュー画面に戻ります。

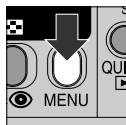
7

MENUボタンを押すとメニュー画面を終了して撮影画面に戻ります。

- 1つ前のステップに戻るには、マルチセレクターの◀を押します。
- メニューのセットは、メニュー画面右下の部分に「▷決定」と表示されている時に▶を押した時点で完了して、メニュー画面に戻ります。
- Ⓜ📷モード、シーンモードのメニュー画面表示時には、シャッターボタンを半押しすると撮影画面に切り換わり、すぐに撮影できます。撮影後は再びメニュー画面に戻ります。

メニューの画面のページを切り換える

メニュー画面のページを切り換えるには、次の3通りの方法があります。

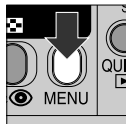
❶ マルチセレクターの▲または▼で赤い表示部分を移動させて切り換える

1

MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させます（SETUPモードでは、モードダイヤルをセットすると自動的にメニュー画面が表示されます）。

2

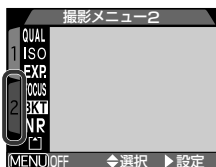
▲または▼を押し続けると、画面が切り換わってメニューの2ページ目が表示されます。

❷ ページタブを選択して切り換える

1

MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させます（SETUPモードでは、モードダイヤルをセットすると自動的にメニュー画面が表示されます）。

2

◀を押すとメニュー画面左側の「1」のタブが赤く表示されます。

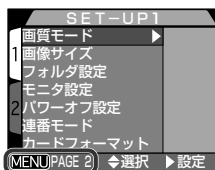
3

▼を押すと「2」のタブが赤く表示され、表示が切り換わります。

4

▶を押すと項目を選択できるようになります。

❸ MENUボタンで切り換える

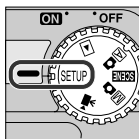
MENUボタンを押すと次のメニュー画面のページへの切り換え、またはメニュー画面の終了が行われます。

● メニュー画面の左下に「MENU OFF」と表示されている場合は、**MENU**ボタンを1回押すとメニューが終了します。

● メニュー画面の左下に「MENU PAGE2」または「MENU PAGE1」と表示されている場合は、**MENU**ボタンを押すと2ページ目または1ページ目のメニュー画面が表示されます。

SET-UPメニュー

SETUPモードではSET-UPメニューによって、画質モード／画像サイズのセット、コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）や日時設定など撮影前の基本的な設定や、液晶モニタなどカメラの各種状態を設定することができます。

モードダイヤルをSETUPにセットし、SET-UPメニューを表示させます。

- SET-UPメニューは2画面で構成されています。
  メニューボタン、またはマルチセレクターの▲または▼で切り換えます。
- SET-UPメニューを終了するには、モードダイヤルを**SETUP**以外にセットするか、電源をOFFにしてください。

SET-UP1	
画質モード	P.88
画像サイズ	P.89
フォルダ設定	P.90
モニタ設定	P.94
パワーオフ設定	P.95
連番モード	P.96
カードフォーマット	P.97

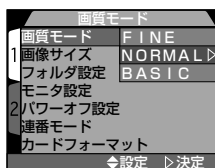
SET-UP2	
ボタン設定	P.98
撮影確認ランプ	P.98
撮影情報	P.99
日時設定	P.100
インターフェース	P.101
言語（LANG）	P.102
ユーザー設定クリア	P.103

画質モードと画像サイズの組み合わせによって決まる撮影可能枚数について

撮影された画像のファイル容量は、画質モードと画像サイズによって決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変化します。16MB、64MB、128MBのコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです（JPEG圧縮の性質上、撮影枚数は画像の絵柄によって大きく異なります）。

CFカード	画像サイズ / 画質モード	2272	2048	1600	1280	1024	640
16MB	HI ※	1	–	–	–	–	–
	FINE	8	10	16	24	37	86
	NORMAL	16	19	31	47	69	144
	BASIC	32	37	59	86	121	229
64MB	HI ※	5	–	–	–	–	–
	FINE	33	40	65	100	151	347
	NORMAL	65	78	125	190	278	578
	BASIC	130	151	236	347	488	918
128MB	HI ※	10	–	–	–	–	–
	FINE	66	80	130	200	303	695
	NORMAL	132	158	252	381	558	1158
	BASIC	260	303	474	695	997	1840

※ 画質モードの「HI」は、SET-UPメニューでは選択できません。Ⓜ📷モードの撮影メニューでのみ選択できます。撮影メニューで「HI」にセットした状態で、Ⓐ📷またはシーンモードにセットすると、自動的に「FINE」に切り換わります。

画質モード

（撮影メニュー）

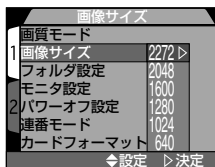
COOLPIX4300は、画像をJPEG形式で圧縮して記録します。画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルの容量が小さくなり、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数は増加します。ただし、圧縮してファイル容量を小さくすると画質が低下し、画像中の細かい部分の再現性は低下していきます。圧縮率を低くすると、画像ファイルの容量が大きくなるため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が減少しますが、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

画質モード	圧縮率	ファイル形式	撮影用途
HI ※	非圧縮	TIFF	コンピュータで画像の一部を拡大表示する場合や、画像の一部を拡大してプリントする場合など（画像サイズが2272×1704の時のみセット可能）。
FINE	約1/4	JPEG	細かい柄模様、高層ビルの窓、吊り橋のワイヤーなどを細かくプリンタで表現したい場合など。
NORMAL	約1/8	JPEG	通常の記念撮影などの画像をコンピュータの画面に表示したり、プリントする場合など。
BASIC	約1/16	JPEG	インターネット等の電子メールで画像を送るときなど、画質よりも画像のファイルサイズが小さくなることを優先させたい場合など。

※ 画質モードの「HI」はⓂモードの撮影メニューでのみ選択できます。画質モードを「HI」にセットした状態でⒶまたはシーンモードにセットすると、自動的に「FINE」に切り換わります。

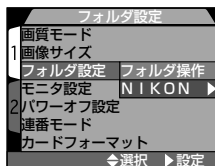
メモ JPEGについて

「JPEG」は、JPEG圧縮規格を策定した「Joint Photographic Experts Group」の略語です。

画像サイズ

（撮影メニュー）

6種類の画像サイズ（画像の大きさ）を選択することができます。画像サイズを小さくすると、電子メールで送る場合や、ホームページ用の画像として適していますが、大きくプリントすると、粒子が粗い画像になります。画像サイズを大きくすると、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が減少しますが、大きくプリントする時に適しています。撮影後の使用方法に合わせて画像サイズを切り換えることによって、コンパクトフラッシュカードを無駄なく使用することができます。

画像サイズ	サイズ（pixel）	プリント時の大きさ（画像解像度を300dpiに設定した場合）
2272	2272×1704	約19×14cm
2048	2048×1536	約17×13cm
1600	1600×1200	約14×10cm
1280	1280×960	約11×8cm
1024	1024×768	約9×7cm
640	640×480	約5×4cm

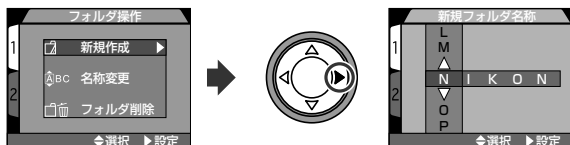
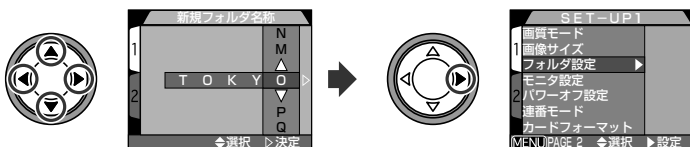
フォルダ設定

初期設定では、撮影した画像は、コンパクトフラッシュカードの「NIKON」フォルダの中に保存されます。フォルダ設定では、撮影した画像を保存するフォルダや、再生時に再生するフォルダを指定することができます。フォルダ操作では、フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。

※「NIKON」フォルダは自動的に作成されるフォルダです。新規に作成されたフォルダは「NIKON」フォルダの下に表示されます。

[フォルダ操作]

■ 新規作成

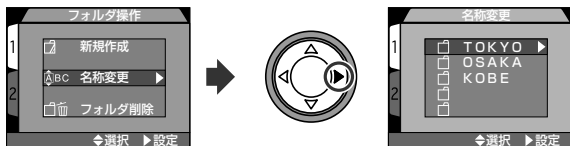
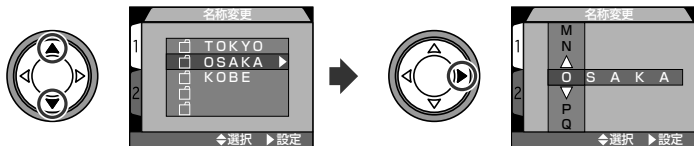
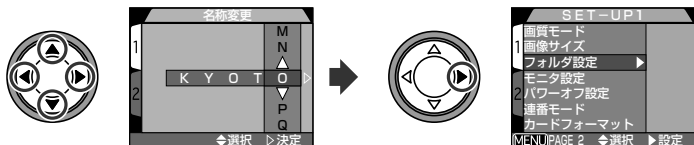
コンパクトフラッシュカード内に新規にフォルダを作成することができます。

1 「フォルダ操作」の詳細画面から「新規作成」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、「新規フォルダ名称」画面に切り換わり、「NIKON」の文字が表示されます。

2 ◀または▶を押して、変更したい文字位置にカーソルを移動し、▲または▼を押して文字を選択し、5文字の名称を完成させます。最後に▶を押せば、新規にフォルダが作成され、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。

✓ ここをチェック！

新規作成されたフォルダは、撮影・再生に使用するフォルダに設定され、撮影時には、新規作成したフォルダ名が液晶モニタに表示されます（NIKONフォルダは表示されません）。

■名称変更

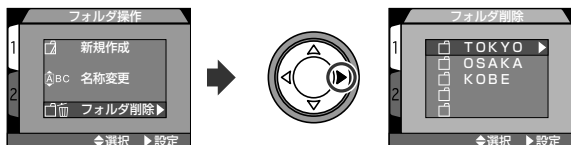
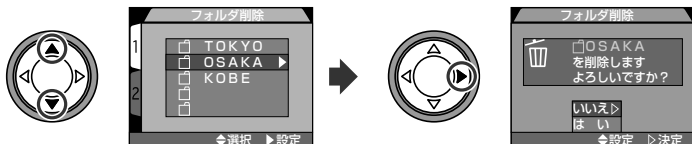
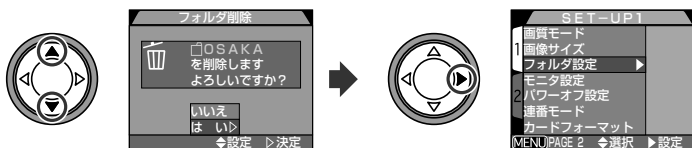
フォルダの名称を変更することができます（ただし、フォルダの名称がNIKONのフォルダは変更することができません）。

1　「フォルダ操作」の詳細画面から「名称変更」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、名称変更するフォルダを選択する画面に切り換わります。

2　▲または▼を押して、名称変更するフォルダを選択し、▶を押すと、文字を入力する画面に切り換わります。

3　◀または▶を押して、変更したい文字位置に赤い表示を移動し、▲または▼を押して文字を選択し、5文字の名称を完成させます。最後に▶を押すと名称変更が終了し、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。

✓ ここをチェック！

名称変更されたフォルダは、撮影・再生に使用するフォルダに設定され、撮影時には、名称変更したフォルダ名が液晶モニタに表示されます。

■ フォルダ削除

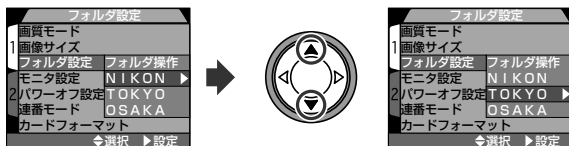
フォルダを削除することができます（ただし、フォルダの名称がNIKONのフォルダは削除することができません）。

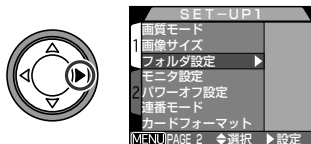
1 「フォルダ操作」の詳細画面から「フォルダ削除」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、削除するフォルダを選択する画面に切り換わります。

2 ▲または▼で削除するフォルダを選択し、▶を押すと確認画面に切り換わります。

3 ▲または▼で「はい」を選択して▶を押すとフォルダ削除が終了して、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。

! 注意　フォルダ削除についてのご注意

- フォルダの名称がNIKONのフォルダは削除できません。
- NIKON以外のフォルダを削除する場合は、フォルダおよびそのフォルダ内にある画像もすべて削除されます。選択したフォルダ内に、非表示設定（☞ P.131）またはプロテクト設定（☞ P.130）された画像がある場合には、フォルダの削除は行われません（ただし、選択したフォルダ内の非表示またはプロテクトされていない画像は削除されます）。

■ NIKONまたはフォルダ名

撮影・再生時に使用するフォルダを選択します。

1 **▲または▼を押して、撮影・再生に使用するフォルダ名を選択します。**

- NIKONを選択すると、再生モードでは全てのフォルダを使用する設定になります。

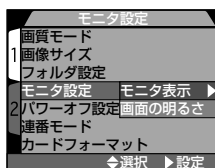
2 **▶を押すと設定され、SET-UP1のメニュー画面に切り換わります。**

✓ ここをチェック！

選択されたフォルダは撮影・再生に使用するフォルダに指定され、撮影時には選択したフォルダ名が液晶モニタに表示されます（NIKONフォルダは表示されません）。

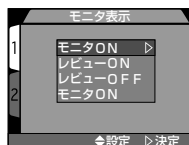
6

メニュー画面

SET-UPメニュー

モニタ設定

液晶モニタの表示および画面の明るさを設定します。

■ モニタ表示

Ⓜ︎📷モードにセットして撮影を行う時の液晶モニタの表示の仕方、および撮影後画像を記録中に数秒間表示されるレビュー画の表示の仕方について設定できます。

設　定	内　容
モニタON	電源をONにすると、液晶モニタが常に点灯します。
レビューON	電源をONにしても、液晶モニタは消灯したままですが、シャッターをきった後にレビュー画が表示されます。
レビューOFF	電源をONにすると、液晶モニタが常に点灯しますが、シャッターをきった後はレビュー画が表示されずに撮影画面に切り換わります。
モニタOFF	電源をONにしても、液晶モニタは常に消灯します。

■ 画面の明るさ

画面の明るさを選択してマルチセレクターの▶を押すと、設定画面に切り換わります。▲または▼で赤い指標を希望する明るさ（5段階）にセットします（＋側は明るく、－側は暗くなります）。▶を押すとセットされ、SET-UPメニュー画面に切り換わります。

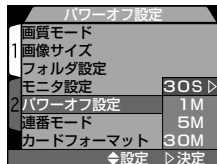
- 画面の明るさは5段階からセットできます。

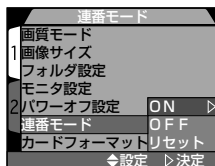
メモ　画面の明るさ

画面の明るさは、赤い指標が移動した時点でセットされます。

✓ ここをチェック！

セットされた画面の明るさは、Ａ📷、SCENE、Ｍ📷、🎥、SETUP、▶モードの全てに適用されます。

パワーオフ設定

一定時間カメラの操作が行われない場合に自動的に低消費電力状態に切り換わるオートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットします。30秒（30S）、1分（1M）、5分（5M）、30分（30M）から選択して設定します。初期設定では、バッテリーを使って操作する場合、30秒間カメラの操作を行わないとオートパワーオフ機能が作動します。ただし、ACアダプタを接続している場合は、30分間に固定されます。

連番モード

連番モードをONにセットすると、複数のコンパクトフラッシュカードを使用しても、画像のファイル名を連続する通し番号で記録します。初期設定では、ONにセットされています。パソコンに画像を取り込んで管理する場合などに名称変更することなく管理できます。

メモ　画像ファイル名・フォルダ名について

COOLPIX4300で撮影した画像ファイルには4桁の番号が付けられ、DSCN0001.JPG ～ DSCN9999.JPGという名前で記録されます（スモールピクチャーのファイル名はSSCN0000.JPGとなります）。また、ファイルが保存されるフォルダには3桁のフォルダ番号が付けられます。連番モードのセット内容により、画像ファイルには次のように番号が付けられます：

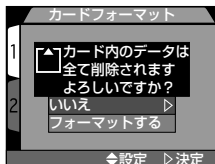
- ON：
  コンパクトフラッシュカードを交換したり、記録フォルダを変更した場合にも、画像ファイルには撮影順に連続した番号が付けられます。このため、同じ名前のファイルが作成されず、画像をパソコンに取り込んで管理する場合などに便利です。
- OFF：
  画像ファイルの番号は、フォルダごとに撮影順に0001から0200まで自動的に付けられます。複数のコンパクトフラッシュカード、フォルダを使うと、例えばDSCN0001.JPGという同名のファイルが、複数存在する状態になります。
- リセット：
  連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。すでにファイル番号がある場合は、コンパクトフラッシュカード内にある一番大きいファイル番号の次の番号より連番を付けます。

注意　フォルダ名、ファイル名についてのご注意

フォルダの中の画像ファイル番号が9999を超える場合、または1フォルダ内に200枚の画像がある場合、連番モードの設定がON／OFFにかかわらず、フォルダ番号に1を加えた数のフォルダ（例：100NIKON→101NIKON）を自動的に新規作成します。ただし、フォルダ番号が999で、そのフォルダ内のファイル名の画像番号が9999に達した場合には、コンパクトフラッシュカードの記録容量に余裕があってもそれ以上撮影できません。コンパクトフラッシュカードを交換するか、カードをフォーマット（☞ P.97）してください。

✓ ここをチェック！

ファイル名を0001番から連番にしたい時には、コンパクトフラッシュカードをフォーマットした後、連番モードのリセットを選択してください。ただし、フォーマットをすると、プロテクト設定や非表示設定された画像を含む全ての画像が消去されますのでご注意ください。

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

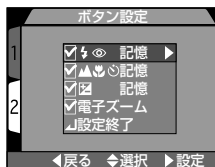
設　定	内　容
いいえ	フォーマットを行いません。
フォーマットする	マルチセレクターの▶を押すと、すぐにフォーマットが開始されます。

✓ ここをチェック！

付属のコンパクトフラッシュカードはCOOLPIX4300用にフォーマットされています。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX4300で使う場合には、COOLPIX4300で使用できるように、あらかじめカードをフォーマット（初期化）する必要があります。

！注意　カードフォーマットについてのご注意

- カードフォーマットをすると、コンパクトフラッシュカード内に記録されているデータはすべて削除されます。**「フォーマットする」**を選択して▶を押すとすぐにフォーマットがはじまり、取り消すことはできませんので注意してください。
- カードフォーマット中は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

ボタン設定

電源をONにした時の各機能の状態を設定できます。スピードライトモード、フォーカスモード、露出補正の各操作ボタンの設定内容の記憶と、電子ズームのON/OFFの設定ができます。

■ 記憶、記憶、記憶

1 項目を ☑（チェック済み）にすると、電源をOFFにした時の設定内容が電源をONにした時にそのまま表示されます。

- 初期設定では、すべて☑チェック済みとなっています。

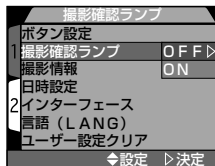
2 電源OFF時の設定内容を記憶させない場合は、マルチセレクターの▶でチェックボックスから□チェックをはずし、「設定終了」を選択して設定します。

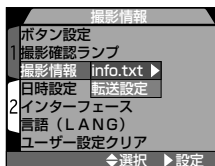
- 各項目のチェックをはずした場合には、電源をONにすると、次のような内容にセットされます：スピードライトモード＝自動発光モードまたは赤目軽減自動発光モード（いずれかのうち、最後にセットされたモード）、フォーカスモード＝通常AFモード、露出補正＝補正なし

■ 電子ズーム

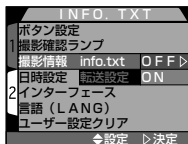
チェックボックスを ☑（チェック済み）にすると、ズームボタンのT側を2秒間以上押し続けると電子ズームが作動するようになります。

- 初期設定では、電子ズームは☑チェック済みとなっています。

撮影確認ランプ

ONにすると、レンズ横にある赤目軽減／セルフタイマーランプを撮影終了時に確認用ランプとして点灯するようにできます。

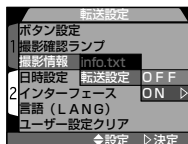
撮影情報

info.txtファイルの作成と、画像の転送設定のON/OFFをセットできます。

■ info.txt

info.txtは、画像ファイル名と撮影時の各種データをテキストファイルとして記録するもので、コンパクトフラッシュカードの画像記録フォルダに保存されます。

メモ　info.txtについて

- COOLPIX4300の撮影撮影SET-UPの**「info.txt」**をONにセットした場合には、コンパクトフラッシュカード内の画像を保存したフォルダに、info.txtというテキストファイルを作成することができます。info.txtには、画像ファイル名に加えて、以下の項目が記録されています。
  - 画像ファイル名／種類
  - カメラ機種名／ファームウェアバージョン
  - 測光モード
  - 露出モード
  - シャッタースピード
  - 絞り値
  - 露出補正値
  - 焦点距離と電子ズーム
  - 階調補正
  - 撮像感度
  - ホワイトバランス
  - 輪郭強調
  - 撮影日時
  - 画像サイズと画質モード
  - フォーカスエリア

■ 転送設定

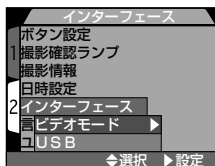
撮影時に、画像をパソコンへ転送するかどうかをあらかじめ設定することができます。転送設定をONにセットして撮影すると、設定以降に撮影された全ての画像ファイルが自動的に転送設定されます（撮影された画像に転送マークが付きます）。転送設定をOFFにセットして撮影すると、設定以降に撮影された画像には転送設定されません。

設　定	内　容
OFF	撮影時に画像や動画を転送設定しません。
ON	撮影時に画像や動画に転送マークを付け、転送設定します。

! 注意　1000コマ以上の画像を転送する場合のご注意

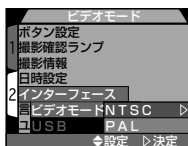
- 1枚のコンパクトフラッシュカード内で転送設定できる画像は、999コマまでです（ただし、画像のファイル番号は関係ありません）。
- 1000コマ以上の画像を転送する場合は、Nikon Viewを使用してください。詳しくは付属のNikon ViewリファレンスマニュアルCD-ROMをご覧ください。

日時設定

日付と時刻を設定します。初めてお使いになる時などは、日時を設定してください。また、日付表示順の変更も行えます（日時の設定方法は、P.23をご覧ください）。

インターフェース

ビデオ出力方式や、専用のUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続する時のUSB通信方式を選択します。

■ ビデオモード

カメラを接続する機器のビデオ信号形式に合わせて、NTSC（日本国内のビデオ出力方式）またはPAL（欧州のビデオ出力方式）を選択します。

■ USB

専用のUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続して画像を転送するには、カメラの**TRANSFER**ボタンを使用する方法と、Nikon Viewの ボタンを使用する方法があります。ご使用のパソコンのOS（オペレーティングシステム）および転送方法に合わせてUSB通信方式を選択します。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。

OS	TRANSFERボタン	Nikon View の ボタン
	USB通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	**Mass Storage またはPTP**	**Mass Storage またはPTP**
Mac OS X（10.1.3以降）	**PTP**	Mass Storage またはPTP
Mac OS X（10.1.2）	―＊	
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition（Me） Windows 98 Second Edition（SE）/98 Mac OS 9（9.0、9.1、9.2）	**Mass Storage**	**Mass Storage**

＊ Mac OS X 10.1.2をご使用の場合は、カメラの**TRANSFER**ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon Viewの ボタンを使用してください。

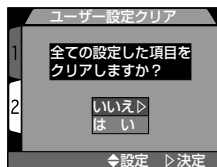
注意 Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98 SE/98、Mac OS 9をご使用の場合のご注意

COOLPIX4300を上記OSのパソコンに接続する場合、SET-UPメニューの**「インターフェース：USB」**を**「PTP」**に設定しないでください。
初期設定は**「Mass Storage」**に設定されています。
「PTP」にセットしてCOOLPIX4300をパソコンに接続した場合は、下記の要領でパソコンとの接続をはずしてください。また、再度パソコンと接続する場合は、必ず**「Mass Storage」**に変更後、パソコンに接続してください。

- **Windows 2000 Professionalの場合：**
  「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。
- **Windows Millennium Edition（Me）の場合：**
  「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。
- **Windows 98 Second Edition（SE）/98の場合：**
  「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。
- **Mac OS 9.0、9.1、9.2の場合：**
  「USB装置“Nikon Digital Camera E4300_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続をはずしてください。

言語（LANG）

メニューに表示する言語を**De**（ドイツ語）、**En**（英語）、**Fr**（フランス語）、**日**（日本語）、**Es**（スペイン語）のいずれかに切り換えることができます。

ユーザー設定クリア

カメラに記録された各種の設定をクリアします。
以下のメニュー項目では、ユーザー設定クリアを実行すると、カメラに記録された内容が全て初期設定に戻ります（表中以外のメニュー項目は変更されません）。

■ SET-UPメニュー項目

メニュー項目		内　容
フォルダ設定		NIKON
モニタ設定	モニタ表示	ON
	画面の明るさ	中間値
パワーオフ設定		30S
ボタン設定		全て記憶[電子ズームON]
撮影確認ランプ		OFF

■ 撮影メニュー項目

メニュー項目		内　容
ホワイトバランス		オート
測光方式		マルチ測光
連写		単写
BSS		OFF
階調補正		AUTO
輪郭強調		AUTO
コンバータ		OFF
感度設定		AUTO
露出制御	露出固定	OFF
	露出補正	0（補正無し）
フォーカス	AFエリア選択	AUTO
	AF-MODE	S-AF
	ピーキング	MF
ブラケティング		OFF
ノイズ除去		OFF

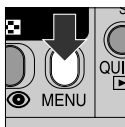
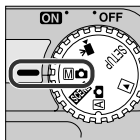
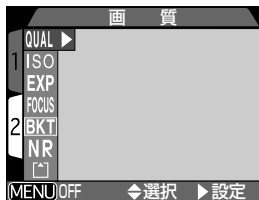
■ 再生メニュー項目

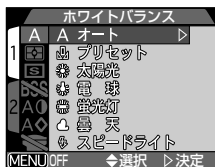
メニュー項目	内　容
フォルダ設定	全てのフォルダ
インターバル設定	3S
パワーオフ設定	30S

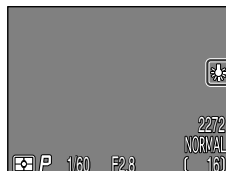
撮影メニュー

Ⓜ📷モード時には、撮影メニューによって露出やホワイトバランスなどをより詳細にコントロールしたり、測光方式、連写、階調補正、コンバータなどの撮影条件を設定して撮影を行うことができます。

モードダイヤルをⓂ📷にセットし、メニューボタンを押して撮影メニューを表示させます。

- 撮影メニューは2画面で構成されています。
  MENUボタン、またはマルチセレクターで切り換えます。
- メニュー画面を終了するには、撮影メニュー1（1ページ目）の表示時には**MENU**ボタンを2回、撮影メニュー2（2ページ目）の表示時には**MENU**ボタンを1回押すと、メニューが終了します。

撮影メニュー1		
A	ホワイトバランス	P.105
	測光方式	P.107
S	連写	P.108
BSS	BSS	P.110
A	階調補正	P.111
A	輪郭強調	P.112
	コンバータ	P.113

撮影メニュー2		
QUAL	画質	P.114
ISO	感度設定	P.115
EXP.	露出制御	P.115
FOCUS	フォーカス	P.119
BKT	ブラケティング	P.121
NR	ノイズ除去	P.123
	カードフォーマット	P.123

ホワイトバランス

人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行って初めて、白い被写体は白に見えます。この調整を、ホワイトバランスを合わせるといいます。ほとんどの場合はオートで撮影できますが、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には、他のホワイトバランスにセットしてください。

ホワイトバランス	内　容
A オート	カメラがホワイトバランスを自動調整します。
プリセット	撮影者が被写体を基準にホワイトバランスを調整します(☞ P.106)。
太陽光	晴れの日の撮影に使用します。
電球	白熱電球下での撮影に使用します。
蛍光灯	蛍光灯下での撮影に使用します。
曇天	曇りの日の撮影に使用します。
スピードライト	スピードライト撮影に使用します。

● ホワイトバランスをオート以外にセットすると、ホワイトバランス表示が液晶モニタの撮影画面に表示されます。

■ホワイトバランスの微調整

- マルチセレクターの▲または▼で−3〜+3（1段ステップ）までの微調整が行えます。−方向にセットした場合は画像が赤みがかり、+方向にセットした場合は画像が青みがかります。▶を押すとセットされます。

名　称	光　源
FL1	白色（W）
FL2	昼白色（N）
FL3	昼光色（D）

- ▲または▼でFL1、FL2、FL3の中から蛍光灯の種類に応じて選択することができます。▶を押すとセットされます。

■プリセットホワイトバランス

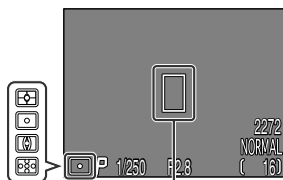
プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を普通の照明下で撮影した用に見せる場合など）。「プリセット」を選択すると、ズームレンズが動作して、プリセットホワイトバランス設定画面に切り換わります。

設　定	内　容
現在の設定	前回プリセットされたホワイトバランスを使用します。
新規設定	撮影する照明下で紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して、マルチセレクターの▶を押すと、新しいプリセットホワイトバランス値が測定されます。プリセット中にはシャッターがきれる音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は撮影されません。

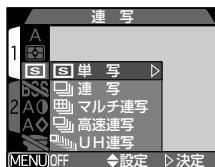
測光方式

測光方式を選択します。

測光方式	特　徴	こんな撮影には
マルチ	CCDの撮像領域を256分割して測光し、最適な露出値を決定します。さまざまなシーンで適正な露出が得られます。	通常の撮影では、マルチ測光による撮影をおすすめします。
スポット	撮影画面中央部の、全体の約1/32の領域のみを測光して露出値を決定します。測光範囲は、撮影時に液晶モニタ中央部に表示されます。	逆光やコントラストの差が激しいときなど、撮影画面の一部分の露出を基準に撮影したいときに適しています。
中央重点	撮影画面の中央部の、全体の約1/4の領域に80%のウエイトを置いて測光し、露出値を決定します。	作画意図に応じて中央部の露出値を基準に撮影したい場合に適しています。
AFスポット	撮影メニューの**「フォーカス：AFエリア選択」**で**「AUTO」**または**「MANUAL」**にセットされている時にセットできます（☞ P.119）。選択されているAFエリアのみが測光されるAFスポット測光になります。	測光エリアがAFエリアと連動するため、撮影したい構図のままで、意図的に被写体の特定部分のみの露出を基準に撮影する場合などに適しています。

※電子ズームの作動時は、自動的に中央部重点測光相当に固定されます。

スポット測光エリア表示

● 測光方式をセットすると、測光モード表示が液晶モニタに表示されます。

連写

撮影状況に合わせて単写、連写などの連続撮影モードを選択します。

連写モード	特 徴	セット可能な画像サイズ	セット可能な画質モード
単写	シャッターボタンを深く押し込むごとに、1枚撮影を行います。そのままシャッターボタンを押し続けても、次のコマの撮影は行われません。	全画像サイズ	全画質モード
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、連続撮影を行います。※	全画像サイズ	HI 以外
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、連続して16枚撮影を行います。16枚の画像は、1つの画像ファイルに保存されます。	2272	HI 以外
高速連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、高速で連続撮影を行います。	640	NORMAL
UH連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約30コマ/秒で70枚の撮影を行います。撮影を行うごとにN_で始まる専用フォルダが作成され、そのフォルダに70枚全てが記録されます。	320	NORMAL

※ 画像サイズを**2272**、画像サイズを**NORMAL**にセットした時、約1.3コマ/秒で連写が行えます。ただし、カメラ内部のメモリの空き容量により速度が変化します。

- マルチ連写は、画像サイズを**2272**にセットした時のみ撮影可能です。
- 連写、マルチ連写、高速連写、UH連写では、オートフォーカス、測光値、ホワイトバランス（オートの場合）は、それぞれ撮影1枚目の条件に固定されます。

! 注意　スピードライトについてのご注意

単写モード以外にセットした場合、スピードライトは発光禁止となります。

● 連写を単写モード以外にセットすると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

✓ ここをチェック！

UH連写で撮影中は、撮影進行状況が液晶モニタに表示されます。シャッターボタンから指を離すとUH連写を終了させることができます。

メモ UH連写モードについて

- UH連写モードで撮影された画像を再生する時には、フォルダ選択を**「すべてのフォルダ」**にするか、N__で始まる専用フォルダを選択してください。ユーザー設定をクリアにした初期状態では、フォルダは**「すべてのフォルダ」**が選択されます。
- UH連写モードでは液晶モニタをONにして行ってください。液晶モニタをOFFにすると、自動的に単写モードにセットされます。ただし、再度液晶モニタをONにすると、再びUH連写モードに戻ります。
- UH連写では、撮影メニューの**「BSS」「ブラケティング」**はOFFになります。

! 注意 コンパクトフラッシュカードの取り扱いについてのご注意

撮影後、コンパクトフラッシュカードへの記録が終了するまで、カードをカメラから取り出さないでください。特にUH連写では、撮影された画像はいったんカメラ内部のメモリ上に記録され、連写終了後にコンパクトフラッシュカードに保存されるため、記録に多少時間がかかりますのでご注意ください。

BSS

BSSとは「ベストショットセレクタ」(Best Shot Selector)のことで、最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと判断される画像をカメラが自動的に選んで、その1コマだけをコンパクトフラッシュカードに記録します。手ブレなどで鮮明な画像が得られない場合などに使用します。

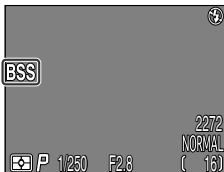
BSS OFF	BSSをセットしません。
BSS ON	シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマの画像を連続撮影し、カメラがその中から自動的に、より鮮明な画像を1コマ選択して、コンパクトフラッシュカードに記録します。フォーカス、測光値、ホワイトバランスは、1コマ目の条件で固定されます。

メモ BSSが効果的な撮影

BSSは以下のような撮影時に効果的です。

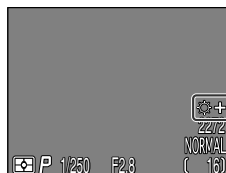
- カメラのズームレンズ、またはテレコンバータを使用して望遠撮影を行っている時
- マクロ撮影時
- 被写体が暗く、シャッタースピードが遅い場合

注意 BSSについてのご注意

- BSSは次の条件下では、ONにセットできません。
  - 連写モードが連写・マルチ連写・高速連写・UH連写モードにセットされている場合(☞ P.108)
  - 画質モードがHIにセットされている場合(☞ P.88)
- BSSをONにセットした時は、スピードライトは発光禁止になります。
- BSSをONにセットしても、動きのある被写体を撮影する場合や、連続撮影中に構図を変更した場合には、効果が得られないことがあります。

- BSSをONにセットした時には、BSS表示が液晶モニタに表示されます。

階調補正

画像のコントラストと明るさを調整します。

階調補正モード	特 徴
A◑ AUTO	カメラが撮影シーンに応じて最適な階調(コントラストの強弱や明るさ)を自動的に調節します。
◯ 標準	撮影した画像をパソコンに取り込んでレタッチを行いたい場合などに適した標準的な階調に調節します。
◑+ コントラスト+ ◑− コントラストー	モニタやプリンタなどの出力機器のコントラスト(硬調、軟調)や、撮影シーンのコントラスト、あるいは好みに応じて、記録する画像のコントラストを調整するためなどに用います。 **コントラスト+(強)**:明暗差や輪郭がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合に使用します。 **コントラストー(弱)**:ソフトな感じの画像になるため、輝度差の大きい被写体を撮影する場合に使用します。
☼+ 明るめ ☼− 明るめ	モニタやプリンタなどの出力機器の特性に応じて、記録する画像の明るさを調整する場合などに用います。露出補正で画像の明るさを調節するとハイライトやシャドーの階調が失われる場合があるため、出力機器とマッチングさせるためには明るめ、暗めを用いた方が良い結果がでます。画像の明るさの好み、およびモニタやプリンタの特性に合わせて使用してください。 **明るめ**:全体的に明るめ(ハイキー)の画像になります。 **暗め** :全体的に暗め(ローキー)の画像になります。
◧ モノクロ	撮影された画像はモノクロデータで記録し、液晶モニタもモノクロ表示となります。画像ファイルのデータ量は通常のカラーモードと同様となりますが、モノクロでは、カラーの場合と比べて解像感の高い画像となります。

- 階調補正をAUTOおよび標準以外にセットすると、階調補正表示が液晶モニタに表示されます。

輪郭強調

撮影した画像の輪郭を調整します。

輪郭強調モード	特　徴
AUTO	カメラが撮影した画像から最適な輪郭を調節します。
標準	撮影した画像を標準的な輪郭に固定します。
強 弱	モニタやプリンタなどの出力機器の特性や撮影シーン、または好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整するために使用します。 強：個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。 弱：個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭の強調を解除します。

注意　輪郭強調モードについてのご注意

輪郭強調の設定は撮影時の液晶モニタ画面とビデオ出力では認識できません。

- 輪郭強調をAUTO以外にセットすると、輪郭強調表示が液晶モニタに表示されます。

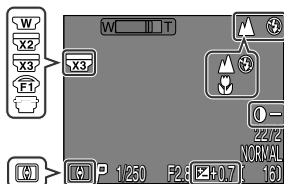
コンバータ

ワイド、テレ、フィッシュアイなどの各コンバータやスライドコピーアダプタなどを使用する撮影に適したカメラのセットを行います。

OFF	コンバータモードをOFFにセット
ワイドコンバータ	ワイドコンバータ使用時にセット
テレコンバータ1	テレコンバータTC-E2使用時にセット
テレコンバータ2	テレコンバータTC-E3ED使用時にセット
フィッシュアイ1	フィッシュアイコンバータ使用時にセット（画像が円形に撮影されます）
スライドアダプタ	スライドコピーアダプタ使用時にセット

- コンバータレンズの詳細については、各コンバータの使用説明書を参照してください。
- 各コンバータモードのセット内容は次のようになります。いずれも、アダプターリングUR-E4（別売 ☞P.141）を併用します。ただし、ワイドコンバータWC-E68を使用時にはUR-E4およびUR-E7（別売）の両方を併用します。

コンバータモード	ロックされるボタン	焦点距離	ズーム操作
ワイドコンバータ	※1	最も広角側（ワイド端）	セット後は可
テレコンバータ1	※1	最も望遠側（テレ端）	セット後は可
テレコンバータ2	※1	最も望遠側（テレ端）	不可
フィッシュアイ1 ※2	※3 ※1	最も広角側（ワイド端）	不可
スライドアダプタ ※4	※3 ※1	マクロモード（電子ズーム1.2倍に固定）	セット後は電子ズーム可

※1：スピードライトは発光禁止。
※2：焦点距離は無限遠に固定、測光モードは中央部重点測光に固定。
※3：セルフタイマーのセットは可能。
※4：階調補正はコントラストー、露出補正は+0.7EV、ただし、セット後に変更可能。

- コンバータモードをセットすると、コンバータ表示が液晶モニタに表示されます。また、それぞれの設定に対応した各機能表示も表示されます。

画質

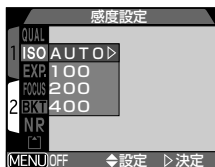
画質モードを4種類から、画像サイズを6種類から選択できます。

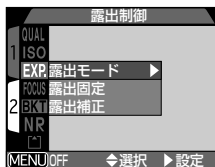
■画質モード

4種類の画質モード（圧縮の比率）から選択することができます（詳しくは、P.88の「SET-UPメニュー：画質モード」をご覧ください）。

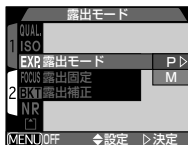
■画像サイズ

6種類の画像サイズ（画像の大きさ）から選択することができます（詳しくは、P.89の「SET-UPメニュー：画像サイズ」をご覧ください）。

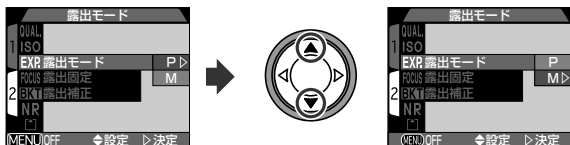
感度設定

撮像感度を変更することができます（詳しくは、P.55の「感度変更モード」をご覧ください）。

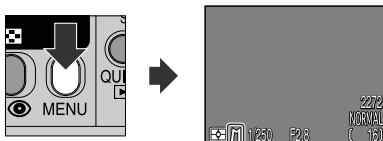
露出制御

露出制御では、露出モードをセットしたり、露出値を固定したり、カメラが測光した適正露出値を、露出補正などにより意図的に変えたりすることなどができます。

■ 露出モード

露出モードをP（プログラムオートモード）、M（マニュアルモード）のいずれかにセットできます。

P	カメラが自動的に露出を決めるプログラムオートモードにセットします。
M	撮影者自身が絞り（2段階の絞り）とシャッタースピード（最長60秒までの長時間露出撮影［BULB］と、8秒から1/1000秒まで1段ごとに）をセットすることができるマニュアルモードにセットします。撮影状況や目的に合わせた露出の決定ができます。

M：マニュアルモード時の操作方法

1 「露出モード」の詳細画面から「M」を選択して、マニュアルモードにセットします。

2 メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

●マニュアルにセットすると、液晶モニタの露出モード表示が、Mになります。

3 絞りは、☑（露出補正ボタン）を押しながら◀または▶を押すことにより、シャッタースピードは、☑（露出補正ボタン）を押しながら▲または▼を押すことによりセットします。

4 液晶モニタの露出インジケーターを確認しながら、撮影意図に合わせて、絞りとシャッタースピードをセットします。

- セットした絞りとシャッタースピードの組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値の差が、露出状態表示と露出インジケーターに表示されます。

露出状態	露出インジケーター
適正露出	−▯▫▫▯▫▫█▫▫▯▫▫▯+
1段アンダー	−▯▫▫█■■█▫▫▯▫▫▯+
2段オーバー	−▯▫▫▯▫▫█■■█■■█+

注意　最小絞りにセット時のご注意

COOLPIX4300では、最小絞り時に絞り羽根にフィルターを併用して光量の調節しているため、表示されるF値から求められる被写界深度が若干浅くなります。

メモ　最長60秒までの長時間露出撮影(BULB)について

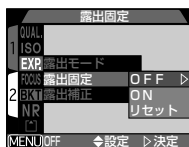
① 最長60秒までの長時間露出撮影（BULB）を行いたい場合は、カメラを三脚に固定して、露出モードをMにセットし、☒⇕（露出補正）ボタンを押しながら▲を押して、シャッタースピード表示を8”（8秒）の次の**BULB1M**にセットします。

② シャッターボタンを押すと、押している間は最長60秒までシャッターが開いたままとなります。

- 長時間露出撮影（BULB）にセットできるのは、撮影メニューの**「連写」**が**「単写」**（☞ P.108）にセットされている時のみです。
- スピードライトは発光しません（強制発光にセットすると発光します）。

6 メニュー画面　撮影メニュー

■ 露出固定

一連の写真を同じ絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスにして撮影したい時などに使用します。コンピュータに画像を取り込んで合成する場合などに便利です。

● 露出固定をONにすると、WB-L（ホワイトバランスロック）とAE-L（AEロック）マークが液晶モニタに表示されます。また、リセット状態では、この2つのマークが黄色に表示されます。

OFF	「露出固定」は解除され、通常の露出制御に戻ります。
ON	ONにセット後、最初に撮影された条件（絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。スピードライトは発光禁止になります。
リセット	リセットにセット後は、露出などが最初に撮影された条件（絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランス）に固定されます。

■ 露出補正

全体的に明るめにする、暗めにするなど作画意図に応じた露出補正が行えます。撮影目的や条件に合わせて−2EVから＋2EVの範囲で、1/3EVステップごとに設定できます。

● 露出補正をセットにすると、液晶モニタに露出補正マーク☒と補正量が表示されます。

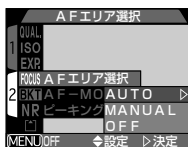
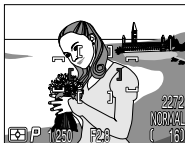
✓ ここをチェック！

露出補正は、露出補正ボタンとマルチセレクターでセットした補正値でも行えます（☞ P.53）

フォーカス

AFエリア選択やAF-MODEによりピント合わせの方法を変更したり、ピーキングによりピントを確認したりすることができます。

■ AFエリア選択

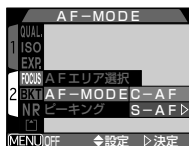
液晶モニタ上の5つのAFエリアを使用してピント合わせを行います。

AUTO	5つすべてのAFエリアを使用して、いずれかのAFエリアに重なる被写体のうち、最もカメラに近いものにピントを合わせます。この機能によりピントの外れた写真を避けることができます。シャッターボタンを半押しすると、5つのAFエリアのうち、カメラが自動的に選択したAFエリアだけが赤色に点灯します。
MANUAL	液晶モニタに表示された5つのAFエリアの中から、撮影者が選択したAFエリアだけを使用してピントを合わせます。マルチセレクターを上下左右に押して希望するAFエリアを選択します。選択されたAFエリアは液晶モニタでは赤色に点灯します。動きの少ない被写体に対して、選択したAFエリア単独で正確にピント合わせを行いたい場合などに便利です。
OFF	5つのAFエリアのうち中央部のAFエリアのみを使用してピント合わせを行います。AF／AEロック撮影を行う場合などに便利です（☞ P.47）。

● AFエリアをMANUALにセットした場合、マルチセレクターを使ってAFエリアを選択します。

! 注意　AFエリア選択についてのご注意

● 液晶モニタON時は、AUTO、MANUALにセットできますが、液晶モニタ消灯時および電子ズーム使用時には自動的にOFFにセットされます。

● AFエリア選択を変更した場合、新しいAFエリアでピント合わせを行います。このため、AFエリア変更時はピントが合うまで、若干時間がかかります。

■AF-MODE

オートフォーカスの動作方式を設定します。

C-AF	シャッターボタンの操作に関係なく、AFによるピント合わせを繰り返し、シャッターボタンの半押しでAFロックを行います。
S-AF	シャッターボタンが半押しされている間のみAFによるピント合わせを行い、ピントが合うとAFロックを行います。

- Ⓐ📷モード、シーンモード、動画モードでは、液晶モニタ点灯時は、**C-AF**となります。ただし、液晶モニタを消灯すると、自動的に**S-AF**に切り換わります。
- Ⓜ📷モードでは、液晶モニタ点灯・消灯にかかわらず、**S-AF**となります（初期設定)。

■ ピーキング

液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭を強調表示します。

ＭＦ	マニュアルフォーカス（☞ P.56）をセットした場合に、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調され、ピントが合っていることを確認できます。
ON	常に液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調され、ピントが合っていることを確認できます。
OFF	ピントが合っている部分の輪郭は強調されません。

✓ ここをチェック！

ピーキングは撮影時の確認用に液晶モニタ上で輪郭を強調表示するものです。撮影された画像には影響ありません。

ブラケティング

ブラケティングは、適正露出以外にカメラが自動的に露出をずらした撮影を行う機能です。露出が決めにくい被写体の撮影に便利です。また、ホワイトバランスブラケティングはカメラが自動的にホワイトバランスをずらした撮影を行う機能です。

ブラケティング	特　徴
OFF	ブラケティングを行わず、通常の露出制御を行います。
ON	カメラが表示する適正露出値に対して、設定した撮影コマ数と補正ステップ数で、自動的に露出をずらした撮影が行えます（シャッタースピードが変化します）。
WB-BKT	シャッターボタンを1回押すと、その時セットされているホワイトバランスを中心に、赤味がかった画像と、青味がかった画像の3コマを記録します。

■ ON

シャッターボタンを押し込むごとに、標準（0）、＋側、－側の順で自動的に露出をずらしながら、5コマまたは3コマの画像の撮影が行えます。コントラストが強い被写体の撮影時に、露出をずらした画像から作画意図にあったものを選ぶことができます。

- ブラケティングをセットすると、液晶モニタにBKT（ブラケティングマーク）と次に撮影されるコマの補正量が表示されます。

撮影コマ数と補正ステップ	撮影順序（EV）
3，±0.3	0→+0.3→－0.3
3，±0.7	0→+0.7→－0.7
3，±1.0	0→+1.0→－1.0
5，±0.3	0→+0.7→+0.3→－0.3→－0.7
5，±0.7	0→+1.3→+0.7→－0.7→－1.3
5，±1.0	0→+2.0.→+1.0→－1.0→－2.0

✓ ここをチェック！

連写・高速連写モード（☞ P.108）にセット時に、ブラケティング撮影する場合は、シャッターボタンを深く押し続けると、セットした枚数を撮影した時点でいったん停止します。

■ WB-BKT

1回の撮影で設定されているホワイトバランスを中心に、赤みがかった画像と青みがかった画像の3コマの画像が記録されます。さまざまな光源下の撮影時に、記録された画像から好みに合ったものを選ぶことができます。

- ホワイトバランスブラケティングをセットすると、液晶モニタに WB BKT（ホワイトバランスブラケティングマーク）が表示されます。

! 注意　ブラケティングとホワイトバランスブラケティングついてのご注意

- **マルチ連写・UH連写モード**（☞ P.108）、**BSS**（☞ P.110）、**露出固定**（☞ P.118）、**ノイズ除去**（☞ P.123）をセットしている場合、ブラケティングはセットできません。
- 連写モードを単写以外にセットしている時（☞ P.108）や、**BSS**（☞ P.110）、**露出固定**（☞ P.118）、**ノイズ除去**（☞ P.123）をセットしている場合、ホワイトバランスブラケティングはセットできません。
- ホワイトバランスブラケティング撮影は、コンパクトフラッシュカードへの書き込みに、通常より3倍程度時間がかかります。

ノイズ除去

夜景など、シャッタースピードが長時間になる撮影を行った場合、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。ノイズ除去モードをONにすると、このノイズを軽減することができます。

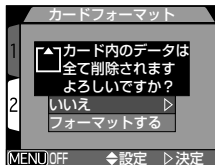
メモ　ノイズ除去モードについて

- Ⓐ📷モード時にはノイズ除去モードはセットできません。
- シーンモードの夜景ポートレートおよび夜景モード時に、シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影の場合、自動的にノイズ除去モードにセットされます。
- ノイズ除去をONに設定しても、シャッタースピードが1/4秒より速い撮影では、ノイズ除去は行われません。

- ノイズ除去をONに設定し、シャッタースピードが1/4秒以下の撮影状況では、液晶モニタにノイズ除去表示が表示されます。

注意　撮影画像の記録時間についてのご注意

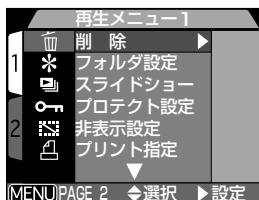
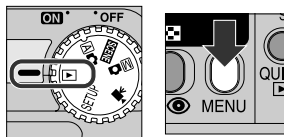
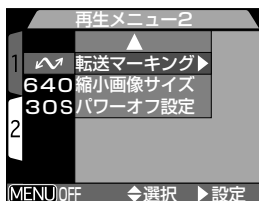
ノイズ除去モードでは、撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が完了するまでに通常より2倍以上時間がかかります。

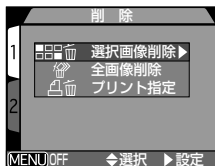
カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。詳しくは、P.97をご覧ください。

再生メニュー

再生メニューには、複数の画像を一括削除したり、全画像を削除する「削除」モードや、画像を自動再生する「スライドショー」など、記録された画像の再生に関して9項目のメニューが設定できます。

モードダイヤルを▶にセットし、再生メニューを表示させます。

- 再生メニューは1ページ2画面で構成されています。画面の切り換えはマルチセレクターまたはメニューボタンで行います。

再生メニュー1	
削除	P.125
フォルダ設定	P.127
スライドショー	P.128
プロテクト設定	P.130
非表示設定	P.131
プリント指定	P.132

再生メニュー2	
転送マーキング	P.134
縮小画像サイズ	P.135
パワーオフ設定	P.135

削　除

画像の削除とプリント指定の解除を行います。

選択画像削除	選択した画像を削除します。
全画像削除	記録されている全画像を削除します。
プリント指定	プリント指定（DPOF）を解除します。

■ 選択画像削除

「選択画像削除」を選択すると、「削除選択画面」に切り換わります。

- **削除選択画面での画像選択方法**

1

2

3

1 ◀または▶で削除したい画像にオレンジ色の枠を合わせます。

2 ▲または▼を押して、削除する画像上に🗑を表示させせます。

- 選択された画像上には削除アイコン🗑が表示されます。🗑が表示された画像上でもう一度▲または▼を押すと、選択が解除されて🗑の表示が消えます。
- 1、2の手順を繰り返して削除する画像を選択します。

3 QUICK▶ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。▲または▼で「はい」を選択し、▶を押すと削除が実行されます。

! 注意　プロテクト設定、非表示設定がセットされた画像について

- プロテクト設定がセットされた画像は、削除画像選択画面に表示されますが、削除することはできません。
- 非表示設定がセットされた画像は、削除画像選択画面には表示されず、削除することもできません。

■ 全画像削除

「全画像削除」を選択すると、全画像削除の確認画面に切り換わります。削除を実行すると、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像がすべて削除されます。

・全画像削除の操作方法

1

2

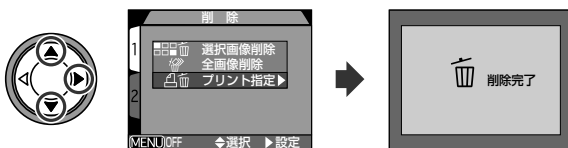
1 マルチセレクターの▲または▼で「はい」を選択します。

2 ▶を押すと、削除が実行されます。

> **! 注意　全画像削除について**
>
> - プロテクト設定または非表示設定がセットされた画像は、削除できません。
> - フォルダ内の全画像は削除されますが、フォルダは削除されません。

■ プリント指定

再生メニューの「プリント指定」（☞ P.132）での設定を一括して削除します。

1 ▲または▼で「プリント指定」を選択して、▶を押すと削除が実行されます。

> **! 注意　プリント指定の削除について**
>
> 「プリント指定」の削除を実行すると、動画にセットされた転送マークも解除されますのでご注意ください。

フォルダ設定

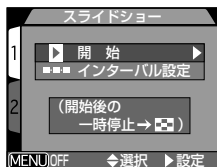
画像を再生するフォルダを指定します。
フォルダ操作では、フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。

※「NIKON」フォルダは自動的に作成されるフォルダです。新規に作成されたフォルダは「NIKON」フォルダの下に表示されます。

- **「フォルダ操作」**のセット方法は、SET-UPメニューの**「フォルダ設定」**（☞ P.90）をご覧ください。
- 画像を再生するフォルダを**「全てのフォルダ」、「NIKON」**フォルダ、または新規に作成したフォルダの中から選択します。
- 再生モードで選択したフォルダは、電源をOFFにしても記憶保持されます。再生モードで再生フォルダを設定した場合には、撮影モードでの画像記録用のフォルダも変更されます。また、SETUPモードでフォルダ設定を変更した場合には、再生モードの再生フォルダも変更されます。
- **「全てのフォルダ」**を選択すると、フォルダの選択を行わなくても、全てのフォルダ内の画像を再生することができます。

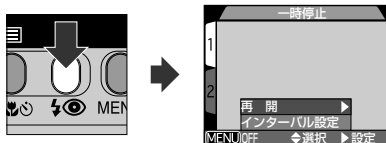
メモ　UH連写の撮影画像の再生について

UH連写で撮影された画像は、N_で始まる専用フォルダに記録されます。UH連写で撮影された画像を再生するときには、フォルダ選択を**「全てのフォルダ」**にするか、N_で始まる専用フォルダを選択してください。

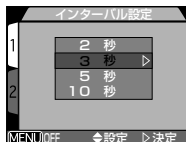
スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生するスライドショーを行います。インターバル設定では、画像を表示する長さを、2秒、3秒、5秒、10秒のいずれかにセットできます。

■ 開始

マルチセレクターの▲または▼で「開始」を選択し、▶を押すと撮影した画像を1コマずつ順番に液晶モニタに表示します。

- スライドショーを再生中の動作は以下の通りです。
  - 先頭コマから最終コマまで一定間隔で表示した後は、最終コマを表示して**「一時停止」**画面になります。
  - 動画ファイルは、先頭コマが静止画で表示されます。
  - スライドショーショーの再生中にボタンを押すと、スライドショーを中断して**「一時停止」**画面に切り換わります。▶を押すと再開します。
  - メニューボタンを押すと、スライドショーを中止して1コマ再生画面に戻ります。
  - スライドショーを再生中にマルチセレクターでコマ送りができます。
  - スライドショーをセットしてカメラの操作を行わないまま30分経過すると、オートパワーオフ機能が働きます。

- スライドショーのセット画面または**「一時停止」**画面で、▲または▼で**「インターバル設定」**を選択し、▶を押すとインターバル設定画面になります。

■ インターバル設定

▲または▼でセットするインターバル時間を選択し、▶を押すとセットしたインターバル時間でスライドショーが開始／再開されます。

- インターバル時間とは、一枚の画像を完全に表示している時間です。はじめにセットされているインターバル時間は3秒、その他にセット可能なインターバル時間は2秒、5秒、10秒です。
- 画質モード、画像サイズによっては、セットしたインターバルどおりには画像が切り換わらない場合があります。

メモ　スライドショーが終了した時は

- **MENU**ボタンを押すと、1コマ再生画面に戻ります。
- ◀を押すと、再生メニュー画面に戻ります。

注意　表示されない画像について

非表示設定（☞ P.131）された画像およびスモールピクチャー（☞ P.62）画像はスライドショーでは表示されません。

プロテクト設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を不用意に削除してしまわないようにプロテクト（保護）をかけることができます。

■ プロテクト画像選択画面での画像選択

「プロテクト設定」を選択すると、「プロテクト画像選択」画面に切り換わります。

- プロテクト設定の方法

1

2

3

1 ◀または▶で、プロテクト設定したい画像に、オレンジ色の枠を合わせます。

2 ▲または▼を押して、プロテクトする画像を選択します。

- 選択された画像上にはプロテクトアイコンO━ﾛが表示されます。選択画像上でもう一度▲または▼を押すと、プロテクトアイコンO━ﾛが消え、選択が解除されます。
- 1、2の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像をすべて選択します。

3 QUICK▶ボタンを押すと、プロテクト設定が実行されます。

- **QUICK▶**を押すと画像の選択が完了し、プロテクト設定がセットされて**「プロテクト設定完了」**の画面が表示された後に、再生メニュー画面に戻ります。

■ プロテクト設定の解除方法

1 ◀または▶で、プロテクト設定を解除したい画像にオレンジ色の枠を合わせ、▲または▼を押して、プロテクトアイコンO━ﾛを消します。

2 QUICK▶を押すと、選択された画像のプロテクト設定が解除されます。

非表示設定

指定された画像を1コマ再生モード、サムネイルモード、スライドショー、および非表示設定を除く再生メニュー各項目の画像選択画面で表示されないようにします。

■ 非表示画像選択画面での画像選択

「非表示設定」を選択すると、「非表示画像選択」画面に切り換わります。

• 非表示設定の方法

1

2

3

1 ◀または▶で、非表示設定したい画像に、オレンジ色の枠を合わせます。

2 ▲または▼を押して、非表示にする画像を選択します。

- 選択された画像は、非表示アイコン⊠が画像上に表示されます。選択画像上でもう一度▲または▼を押すと、選択が解除され、非表示アイコン⊠が消えます。
- 1、2の手順を繰り返し、非表示設定する画像をすべて選択します。

3 QUICK▶ボタンを押すと、選択された画像の非表示設定が実行されます。

- **QUICK▶**を押すと画像の選択が完了し、非表示設定がセットされて**「非表示設定完了」**の画面が表示された後に、再生メニュー画面に戻ります。

■ 非表示設定の解除方法

1 ◀または▶で、非表示設定を解除したい画像にオレンジ色の枠を合わせ、▲または▼を押して、非表示アイコン⊠を消します。

2 QUICK▶ボタンを押すと、選択された画像の非表示設定が解除されます。

プリント指定

画像のプリントについての指定を行います。プリント指定の内容は、プリント設定ファイルとしてコンパクトフラッシュカードに記憶・保存されます。COOLPIX4300は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に対応しています。

■ プリント画像選択画面での画像選択

「プリント指定」を選択すると、「プリント画像選択」画面に切り換わります。

- プリント指定の方法

1

2

3

1 マルチセレクターの◀または▶で、プリント指定したい画像に、オレンジ色の枠を合わせます。

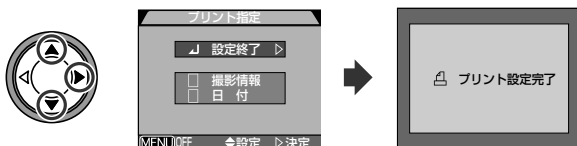
2 ▲または▼を押してプリント指定する画像を選択し、プリント枚数をセットします。

- 選択された画像上にはプリントアイコン🖨とプリント枚数が表示されます。▲を押すとプリント枚数が増加し（最大9枚）、▼を押すとプリント枚数が減少します。
- 1、2の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。

3 QUICK▶ボタンを押します。

- **QUICK▶**を押すと画像の選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。

■ プリント指定画面

プリント指定画面では、プリント時に撮影情報（絞り値とシャッタースピード）や撮影日を印字するようにセットできます。

[設定終了]

- ▲または▼で**「設定終了」**を選択し、▶を押すとプリント指定の設定が完了し、**「プリント設定完了」**の画面が表示された後、再生メニュー画面に戻ります。

[撮影情報]

- ▲または▼で**「撮影情報」**を選択し、▶を押すとチェックボックスの☑／□が切り換わります。☑チェック済みにセットすると、画像内に絞り値とシャッタースピードが印字されるように設定します。設定を終了する操作手順は、**「設定終了」**と同様になります。

[日付]

- ▲または▼で**「日付」**を選択し、▶を押すとチェックボックスの☑／□が切り換わります。☑チェック済みにセットすると、画像内に撮影の日付が印字されるように設定します。設定を終了する操作手順は、**「設定終了」**と同様になります。

■ プリント指定の解除方法

1 **▲または▼で、プリント指定を解除したい画像にオレンジ色の枠を合わせ、▼を押して、プリントアイコン⎙を消します。**

- プリントアイコン⎙が表示されている画像上で、▼を押すとプリント枚数が減少します。プリント枚数が1の時にさらに▼を押すと、選択が解除され、プリントアイコン⎙が消えます。

2 **QUICK▶を押すと、プリント指定が解除されます。**

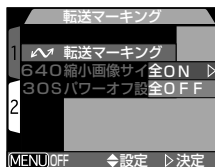
- 再生メニューの**「削除：プリント指定」**でプリント指定を一括して解除することができます（☞ P.126）。

メモ　日付のプリントについて

プリント指定画面で**「日付」**を☑チェック済みにセットすると、従来の日付機能付きフィルムカメラで撮影した写真と同様に、プリント画像に撮影日時を入れることができます。撮影日時を印字したい場合には、必ず撮影前にカメラの**「日時設定」**が正しく設定されているかご確認ください（☞ P.23）。また、DPOFの日付機能に対応していないプリンタでプリントする場合は、この機能を使用することができません。

メモ　DPOF（Digital Print Order Format）について

「プリント指定」で設定した内容は**「DPOF（Digital Print Order Format）」**でコンパクトフラッシュカードに保存されます。従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF対応プリンタを使用すると、プリント指定した画像をコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます（ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、撮影情報、日付のプリント機能に対応していません）。

転送マーキング

画像の転送設定を行います。

設 定	内 容
全ON	撮影した全画像を転送設定します。
全OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。

メモ　転送マークについて

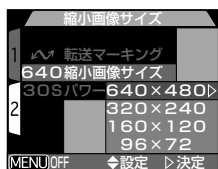
初期設定では撮影された全ての画像は自動的に転送設定され、転送マークが表示されます（SET-UPメニュー**「撮影情報：転送設定」**☞ P.100）。転送マーキングでは、転送設定された画像を全て一括して解除したり、撮影された全画像を一括で転送設定することができます。COOLPIX4300と付属のNikon Viewがインストールされたパソコンを接続して**TRANSFER**ボタンを押せば、転送マークが付いた画像を簡単にパソコンに転送することができます。ただし、Mac OS X10.1.2をご使用の場合は、カメラの**TRANSFER**ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon Viewの［ ］ボタンを使用してください。カメラの**TRANSFER**ボタンで画像を転送する場合は、Mac OS X10.1.3以降が必要です。

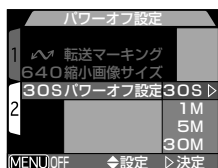
注意　1000コマ以上の画像を転送する場合のご注意

- 転送マーキング設定で一度に転送設定される画像は、999コマまでです。1000コマ以上の画像が記録されているフォルダに、**「転送マーキング設定：全ON」**を行っても、「転送マーク付き」として扱われる画像は、999コマまでです（ただし、画像のファイル番号は関係ありません）。
- 1000コマ以上の画像を転送する場合は、Nikon Viewを使用してください。詳しくは、Nikon ViewのリファレンスマニュアルCD-ROMをご覧ください。

注意　ニコン製の他のデジタルカメラで転送設定を行った場合

ニコン製の他のデジタルカメラで転送設定された画像が記録されているコンパクトフラッシュカードをCOOLPIX4300に装着しても、転送設定は認識されません。COOLPIX4300で再度転送設定を行ってください。

縮小画像サイズ

スモールピクチャーの画像サイズを、使用目的に合わせて、4種類の画像サイズ（640×480、320×240、160×120、96×72ピクセル）のいずれかに変更できます（スモールピクチャーについてはP.62を参照してください）。

パワーオフ設定

再生モード時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能が作動するまでの時間を、30秒（30S）、1分（1M）、5分（5M）、30分（30M）のいずれかに設定できます。

7 付　録

この章では、カメラやバッテリーの取り扱い上のご注意や別売アクセサリー、カメラが正常に作動しない場合の対処方法などについて説明しています。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固い物で拭くと傷になりますのでご注意ください。

●風通しのよい場所に保管してください

カビや故障などを防止するために、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。ナフタリンや樟脳の入ったタンスの中、磁気を発生する器具のそば、極度に高温となる夏期の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

●長期間使用しないときはバッテリーを取り出してください

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

●液晶モニタについて

・液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。また記録される画像には影響はありません。
・屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
・液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

カメラのお手入れ方法

■ カメラのクリーニングについて

レンズ・ ファインダー	レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングする時は、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布等でガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますので注意してください。
液晶モニタ	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますので注意してください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布等で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

■ 保管について

長期間カメラを使用しない時は、必ずバッテリーを取り出しておいてください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に、バッテリーを入れてカメラを操作することをおすすめします。
カメラを保管する場合は、下記のような場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%をこえる場所

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

バッテリーの使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、バッテリーが破裂したりする恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。

・バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
・使用期限の過ぎたバッテリーは使用しないでください。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーの充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんのでご注意ください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはリチャージャブルバッテリー、リチウム電池の入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリー、または新しいリチウム電池を使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●バッテリーの残量について

バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの容量が十分な状態（バッテリー表示が何も表示されない状態）を示すことがありますのでご注意ください。

●持ち運ぶ時は端子カバーをつけてください

カメラから取り外したバッテリーを保管したり、持ち運ぶ場合は、付属の端子カバーをつけてください。バッテリーがショートすると、液もれ、発熱、破裂の原因となり危険です。

■商標説明

- CompactFlash™(コンパクトフラッシュ）は米国SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標または特定地域における同社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

別売アクセサリー

COOLPIX4300には下記の別売アクセサリーを使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。本製品は当社製のアクセサリーに適合するように作られております。当社製品との組み合わせでご使用ください。

リチャージャブル バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL1
ACアダプタ／ バッテリーチャージャー	ACアダプタ／バッテリーチャージャー EH-21
ACアダプタ	ACアダプタ EH-53
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-53 バッテリーチャージャー MH-53C（車載用充電器）
ソフトケース	ソフトケース CS-E885
アダプターリング	アダプターリング UR-E4 アダプターリング UR-E7 ※ COOLPIX4300にコンバータレンズ、スライドコピーアダプタまたはマクロライトを装着するためのアダプターリングです。COOLPIX4300のレンズ部分に取り付けて使用します。
コンバータレンズ	• ワイドコンバータ WC-E68（UR-E4およびUR-E7を併用） • ワイドコンバータ WC-E63（UR-E4を併用） • テレコンバータ TC-E2（UR-E4を併用） • テレコンバータ TC-E3ED（UR-E4を併用） • フィッシュアイコンバータ FC-E8（UR-E4を併用）
リモートコード	リモートコード MC-EU1
スライドコピーアダプタ	スライドコピーアダプタ ES-E28
液晶モニタフード	LCDフード HL-E885
マクロライト	MACRO COOL-LIGHT SL-1（UR-E4を併用）

! 注意　リモートコード使用上のご注意

カメラが動画モード、連写モード、および高速連写モードの場合には、リモートコードは使用できません。

7

付録

■ 使用できるコンパクトフラッシュカード

カメラに付属のコンパクトフラッシュカードおよびニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズの他に、次の他社製コンパクトフラッシュカードは、動作確認されております。

SanDisk社製：
　SDCFBシリーズ 16MB、32MB、48MB、64MB、96MB、128MB

LEXAR MEDIA社製：
　10X USBシリーズ　128MB、160MB
　8X USBシリーズ　8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB
　4X USBシリーズ　8MB、16MB、32MB、48MB、64MB、80MB

上記コンパクトフラッシュカードの機能、動作の詳細、動作保証等については、コンパクトフラッシュカードメーカーにご相談ください。
その他のメーカー製のコンパクトフラッシュカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

! 注意　コンパクトフラッシュカード使用上のご注意

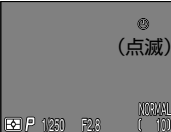
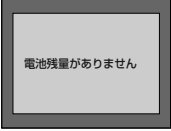
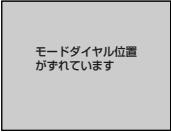
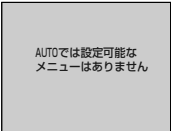
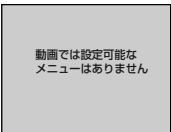
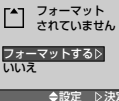
- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。
- 未使用カードは必ずフォーマット（初期化）してからご使用ください。
  コンパクトフラッシュカードのフォーマットについては ☞ P.97
- コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。
- コンパクトフラッシュカードへ記録・削除が行われているときやコンピュータとの通信時には、以下のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  ・カードの着脱をする　　・電源をOFFにする
  ・バッテリーを取り出す　　・ACアダプタを抜く
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- コンパクトフラッシュカードカバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。

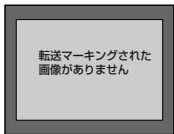
インターネットご利用の方へ

ニコンデジタルカメラの最新情報は、下記URLのホームページでご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しない時は、お買い上げの販売店や当社サービス部門にお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。点検しても症状が直らない場合は、P.152に記載されている当社サービス部門までお問い合わせください。

症状	原　因	ページ
液晶モニタに何も映らない	• 液晶モニタが消灯しています。マルチセレクターの▲を押して液晶モニタを点灯してください。 • カメラがオートパワーオフ状態になっています。シャッターボタンを半押しオートパワーオフを解除してください。 • カメラの電源が入っていません。 • バッテリーが正しく装着されていません、またはバッテリーカバーがしっかりと閉じていません。 • バッテリーの残量がありません。 • ACアダプタ（別売）が正しく接続されていません。	P.29 P.27 P.26 P.19 P.27 P.20
液晶モニタにカメラの設定状態の情報や画像情報が表示されない	• カメラの設定内容や画像情報が非表示に設定されています。マルチセレクターの▲を押して情報を表示させてください。 • スライドショーが行われています。	P.29 P.128
液晶モニタの画面がよく見えない	• 液晶モニタの明るさを調整してください。 • 液晶モニタが汚れています。	P.94 P.139
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • バッテリーの残量がありません。 • コンパクトフラッシュカードに画像を記録する容量がありません。 • AFランプが点滅中：ピントを合わせることができません。 • スピードライトランプが点滅中：スピードライトが充電中です。 • 液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示される時は：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX4300用にフォーマットされていません。 • 液晶モニタに「カードが入っていません」というメッセージが表示される時：コンパクトフラッシュカードがカメラに装着されていません。	P.17 P.27 P.87 P.30 P.30 P.97 P.21

症　状	原　因	ページ
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正がプラス側にかかり過ぎています。	P.53
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライト光の届く範囲外にあります。 • 露出補正がマイナス側にかかり過ぎています。	P.49 P.50 P.151 P.53
ピントが合わない	• シャッターボタンを押す時に被写体が液晶モニタやファインダーの中央に合っていません。 • AFランプが高速に点滅中：カメラはピントを合わせることができません。	P.28 P.30
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。 • シャッタースピードが遅すぎます。スピードライトを使ってください。 • スピードライトを使用できない、または使用したくない場合は： 　• 三脚等を使って、カメラを安定させてください。 　• BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 　• セルフタイマーを使ってください。	P.49 P.110 P.45
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。 次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますので注意してください： 　• モードダイヤルが（動画）にセットされている時 　• フォーカスモードが（遠景）にセットされている場合 　• シーンモードで（風景）、（夕やけ）、（夜景）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（クローズアップ）がセットされている時 　• 連写メニューで「連写」「マルチ連写」「高速連写」「UH連写」にセットされている時 　• 「BSS」がONの時 　• 「コンバータ」がOFF以外にセットされている時 　• 「露出制御」の「露出固定」にセットされている時 • バッテリー残量が少なくなっています。	P.49 P.52 P.43 P.38 P.39 P.108 P.110 P.113 P.118 P.27

症　状	原　因	ページ
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで画像が上書きされました。 • パソコンか他社製のカメラで画像の名前が変更されました。	–
テレビに液晶モニタの画面が映らない	• ビデオケーブルが正しく接続されていません。 • テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていません。または「ビデオ」の入力系統（番号）が間違っています。 • カメラの「ビデオモード」の設定が間違っています。	P.71 P.71 P.101
ノイズが発生し、画像がザラつく	•「ノイズ除去」を使用してください。 • シャッタースピードが遅すぎます。スピードライトを使ってください。	P.123 P.49
スモールピクチャーを作成できない	• レビュー再生モード、サムネイルレビューモードまたはサムネイルモードになっています。 • 表示されている画像が次のいずれかです。 ・ 画質モードHIで撮影された画像 ・ 動画 ・ スモールピクチャー ・ UH連写で撮影された画像	P.33・35･60 P.88 P.65 P.62 P.108
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示されている画像が次のいずれかです。 ・ 動画 ・ スモールピクチャー ・ UH連写で撮影された画像	 P.65 P.62 P.108
カメラとパソコンの接続時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダやPCカードスロットに挿入した時に、Nikon Viewが自動的に起動しない	• カメラの電源がOFFになっています。 • ACアダプタ（別売）が正しく接続されていません。 • バッテリーの残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • カードリーダが正しく接続されていません。 • カードがカードリーダ、カードアダプタ、PCカードスロットに正しく挿入されていません。 ※ Nikon Viewの機能および操作等については、付属のNikon Viewリファレンスマニュアルを参照してください。	P.26 P.20 P.27 P.70

警告表示について

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

表示	原　因	対処方法	ページ
レンズキャップが ついています	レンズキャップを付けたまま電源がONにされました。	電源をOFFにして、レンズキャップをはずしてからONにしてください。	P.18
（点滅） NORMAL P 1/250 F2.8 [10]	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	P.23
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	電源をOFFにしてバッテリーを交換してください。	P.19
モードダイヤル位置 がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを正しい位置にセットしてください。	P.17
AUTOでは設定可能な メニューはありません 動画では設定可能な メニューはありません	Ⓐ📷モード時、または動画モード時に**MENU**ボタンが押されました。	Ⓐ📷モード、動画モードにはメニュー画面がありません。モードダイヤルを他のモードにセットしてください。	P.17

表示	原　因	対処方法	ページ
カードが 入っていません	コンパクトフラッシュカードが入っていない、もしくは正しく装着されていません。	カメラの電源をOFFにして、コンパクトフラッシュカードを正しく装着してください。	P.21
このカードは 使用できません	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	• COOLPIX4300に使用できるのコンパクトフラッシュカードであるかどうか確認してください。 • コンパクトフラッシュカードがこわれている可能性があります。当社サービス部門までご連絡ください。	P.142 P.152
カードに 異常があります	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	• COOLPIX4300用に使用できるコンパクトフラッシュカードであるかどうか確認してください。 • コンパクトフラッシュカードがこわれている可能性があります。当社サービス部門までご連絡ください。	P.142 P.152
フォーマット されていません フォーマットする▷ いいえ ⬍設定　▷決定	コンパクトフラッシュカードが正しくフォーマットされていません。	•「フォーマットする」を選択してマルチセレクターの▶を押して、カードのフォーマットを行ってください。 • 正しくフォーマットされたコンパクトフラッシュカードに交換してください。	P.97 P.21
メモリー残量が ありません	•コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がありません。 •画像・フォルダ番号のオーバーフローです。	•画質モード、画像サイズを変更してください。 •不要な画像を削除してください。 •新しいカードに交換してください。	P.87～89 P.125 P.21
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。 (カメラとパソコンを接続して**TRANSFER**ボタンを押した時のみ)	•不要な画像を削除し、再度**TRANSFER**ボタンを押してください。	P.125

表示	原　因	対処方法	ページ
画像を 登録できません	•コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。 •画像の記録中にエラーが発生しました。 •フォルダまたはファイル番号のオーバーフローです。 •スモールピクチャーが作成できない画像でSMALL PIC.ボタンが押されました。	• コンパクトフラッシュカードをフォーマットしてください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 連番モードをオフにセットするか、リセットを行ってください。 • UH連写や画質モードがHIの画像、動画、スモールピクチャー以外の画像を選んでください。	P.97 P.97 P.96 P.64
撮影画像がありません	コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。	• レビュー再生モード時：シャッターボタンを押して撮影をしてください。 • 再生モード時：他のモードに切り換えてください。	P.33 P.17
表示可能な 画像がありません	記録されている画像がすべて非表示設定されているために表示されません。	再生メニューの非表示設定で、画像の非表示設定を解除してください。	P.131
このファイルは 表示できません	画像ファイルを表示できません。他社製のカメラで撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集された場合に表示されます。	• ファイルを削除してください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	P.97
フォルダの削除が できません	カメラで認識できないファイルや、プロテクト設定または非表示設定された画像ファイルがあります。	• パソコンや他社製のカメラでファイルが上書きされた場合は、ファイルを削除するか、コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 • 画像のプロテクト設定、または非表示設定を解除してください。	P.97 P.130 P.131

表示	原　因	対処方法	ページ
通信エラー	パソコンに画像を転送中に接続が外れたか、コンパクトフラッシュカードが取り出されました。	パソコンの画面に警告メッセージが表示された場合、［OK］をクリックしてNikon Viewを終了してください。カメラの電源をOFFにした後、USBケーブルを再接続するか、コンパクトフラッシュカードを装着し直して、再びカメラの電源をONにしてください。	–
	ご使用のパソコンのOS、カメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラの**TRANSFER**ボタンは使用できません。	カメラの電源をOFFにし、いったんUSBケーブルをはずしてUSB通信方式を変更し直した後、パソコンと再接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、Nikon Viewの転送ボタンを使用してください。	P.70
転送マーキングされた画像がありません	パソコンとの接続時に、転送設定された画像がない時に**TRANSFER**ボタンが押されました。	カメラとパソコンとの接続を外して1枚以上の画像に転送設定をセットして、再接続してください。	P.70
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていることおよびバッテリーの残量が十分かどうか確認してください。	P.70 P.27
システムエラー	• カメラの内部回路にエラーが発生しました。 • レンズ駆動部が押さえつけられているため、電源をONまたはOFFにできません。	カメラの電源をOFFにして（ACアダプタを使用している場合はアダプタを取り外してから）、バッテリーを取り出してください。再度バッテリーを入れて、電源をONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は、当社サービス部門までご連絡ください。	P.19 P.152
動画ではリモートコードの使用ができません	• 動画モード時にリモートコードが接続されました。 • リモートコードのシャッターボタンが押されました。	リモートコードを抜いてください。	P.141

主な仕様

ニコンデジタルカメラCOOLPIX4300の主な仕様

型式		ニコンデジタルカメラE4300
有効画素数		4.0メガピクセル
撮像素子		1/1.8型高密度CCD（総画素数約4.13メガピクセル）
記録画素数（pixel）		2272（2272×1704）、2048（2048×1536）、1600（1600×1200）、1280（1280×960）、1024（1024×768）、640（640×480） スモールピクチャー機能：640×480、320×240、160×120、96×72
レンズ		3倍ズームニッコールレンズ、f=8～24mm（35mm判換算38～114mm）、F2.8～F4.9（8群9枚）
電子ズーム		最大4.0倍
オートフォーカス		コントラスト検出方式、マルチエリアオートフォーカス可能
撮影距離		30cm～∞（広角側）、60cm～∞（望遠側）、[マクロ(AF)時レンズ前約4cm～∞（最広角側）、約30cm～∞（最望遠側）]
AFエリア		5ヶ所、自動選択／手動選択切換可能
ファインダー		実像式光学ズームファインダー、視野率約80%、LED表示付き
液晶モニタ		1.5型低温ポリシリコンTFT液晶、110,000画素、輝度調節機能付き、視野率上下左右とも約97%（対実画面）
記録形式	記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type I）
	画像ファイル	Design rule for Camera File systems（DCF）、Exif2.2準拠、Digital Print Order Format（DPOF）準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 FINE（約1/4）、NORMAL（約1/8）、BASIC（約1/16） 非圧縮：HI（TIFF-RGB） 動画：QuickTime
測光方式		256分割マルチ測光、中央部重点測光、スポット測光、AFスポット測光
露出制御		プログラムオート（P）、マニュアル露出（M）モード、AEロック、露出固定、露出補正（－2～＋2EV、1/3EVステップ）、オートブラケティング

露出連動範囲（ISO100換算）		EV−3〜+EV15（広角側）、EV−1.4〜+EV16.6（望遠側）
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード		8秒〜1/1000秒、60秒までの長時間露出（BULB）
絞り		電磁駆動による絞り開口選択方式、 制御段階：2（F2.8、F7.6）（広角側）
撮像感度		ISO100相当、感度切り換え可能（オート、ISO100、 ISO200、ISO400相当）
セルフタイマー		約3秒、約10秒から選択可能
内蔵スピードライト	調光範囲	約0.4〜3.7m（広角側）、約0.4〜2.3m（望遠側）
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		USB
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		DC入力端子、ビデオ出力端子、デジタル端子（USB）
電源		Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1（付属）1本、6Vリチウム電池（2CR5型）（別売）1本、外部電源：ACアダプタEH-53、ACアダプタ／バッテリーチャージャーEH-21（別売）
連続撮影時間		約90分（専用リチャージャブルバッテリー使用） ※測定条件は当社条件（液晶モニタ点灯、撮影毎にズーム、約3割のスピードライト撮影、2272、NORMALモード）によります。
三脚ネジ穴		1/4（ISO1222）
大きさ		95（W）×69（H）×52（D）mm
質量（重さ）		約230g（バッテリー、コンパクトフラッシュカードを除く）
使用条件		温度：0℃〜+40℃、湿度：85%以下（結露しないこと）

※仕様中のデータは、すべて常温（20℃）、同梱専用リチャージャブルバッテリーEN-EL1をフル充電で使用時のものです。

- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、撮影時間が短い場合があります。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたらニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部
〒140-0015　東京都品川区西大井1-6-3
TEL 03-3773-2221
受付時間　9:00～17:45（土・日曜日・祝日を除く毎日）
※このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- 当サービス部では、修理品の直接受け付けならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出される時に、コンパクトフラッシュカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットをご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL 0570-02-8000　　FAX 03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

お問い合わせ年月日：	年　　月　　日
お買い上げ日：	年　　月　　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のコンピュータの機種名：	
メモリ容量：	ハードディスクの空き容量：
OSのバージョン：	ご使用のインターフェースカード名：
その他接続している周辺機器名：	
ご使用のアプリケーションソフト名：	
ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン名：	
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですから、できるだけ詳しくお書きください）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

索　引

英・数（マーク）

あ

か

技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

ニコンカスタマーサポートセンター

0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間 9:30〜18:00 ＜年末年始、夏期休業等を除く毎日＞

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

KL3J01500601 (10)
6MAA3410-A